

**H21宮繕 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三
外構工事**

建築		設備				構造	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A001	目 次	E001	電気工事仕様書				
A002	設計概要	E002	配置図				
A003	特記仕様書 その1						
A004	特記仕様書 その2						
A005	特記仕様書 その3						
A006	特記仕様書 その4						
A007	特記仕様書 その5						
A008	特記仕様書 その6						
A009	特記仕様書 その7						
A010	位置図・附近見取図						
A011	配置図						
A012	外構寸法図						
A013	2期工事 外構施設平面図 その1						
A014	2期工事 外構施設平面図 その2						
A015	2期工事 雨水排水平面図						
A016	2期工事 外構詳細図 その1						
A017	2期工事 外構詳細図 その2						
A018	外構撤去図						
A019	外構サイン配置図						
A020	外構サイン詳細図						
							</

設 計 概 要														
1. 工 事 名 称			H21宮緒 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 外構工事					13. 面 積						
			イ.建 築 面 積		今回工事部分		6368.58 m ²							
					本工事以外の部分		1862.14 m ²							
2. 主 要 用 途			高校		(合 計)		8230.72 m ²		建ぺい率		27.69 %			
			ロ.延 べ 面 積		今回工事部分		20183.31 m ²							
3. 敷 地 位 置			徳島市北矢三2-1-1		本工事以外の部分		2970.39 m ²							
					(合 計)		23153.70 m ²							
4. 工 事 種 別			改築		ハ.駐 車 場 床 面 積		30.59 m ²		(158 台)					
					ニ.自 転 車 置 場 床 面 積		1418.10 m ²		(1008 台)					
5. 区 域 の 指 定			都市計画区域 市街化区域		ホ.容 積 対 象 延 べ 面 積		21709.01 m ²		容 積 率		73.05 %			
6. 用途地域の指定			第1種住居専用地域・近隣商業地域		ヘ.各 階 床 面 積 表									
			許容建ぺい率 : 60%・80%											
			許容容積率 : 200%											
7. 防火地域の指定			指定なし											
8. その他の地区、地域の指定			高度地区											
9. そ の 他 の 規 制			日影規制											
10. 敷 地														
イ.敷 地 面 積			29,715.17 m ²											

I 工事概要																																																																	
		1.工事名称 2.工事場所 3.敷地面積 4.工事種目 5.工事区分 6.工 期	H21宮崎 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 外構工事 徳島市北矢三町2-1-1 29,715.17㎡ 改築																																																														
II 建築工事仕様書（章番号に○印のあるものを適用）																																																																	
章	項 目		特 記 事 項																																																														
① 一般共通事項	① 適用基準等		◎ 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、総て建設(国土交通省)大臣官房営繕部監修の下記による。 ①公共建築工事標準仕様書(建築工編)平成19年版(以下、「標仕」という) ②敷地調査共通仕様書(平成11年版) ③建築工事標準詳細図(平成17年版) ④建築鉄骨設計基準及び同解説(平成10年版) ⑤公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)平成19年版 ⑥公共建築工事標準仕様書(機械設備工編)平成19年版 ⑦木造建築工事共通仕様書(平成16年版) ◎ 項目は○印のついたものを適用する ◎ 請負代金の中間支払いについては、徳島県土整備部営繕課作成の工程段階支払率による。 ◎ 本工事のうち電気工事及び管工事について、下請業者を使用する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有したものを選定すること。 ◎ 設計図書の特先順位は、次の順とする。 (1) 質問回答書(2)から(5)に対するもの (2) 閲覧補足説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 公共建築工事標準仕様書 平成19年版 等 ◎ 施工条件は次にによる。 工事時間：午前8時～午後5時 周辺道路の通行状況を悪化させないこと。 工事に際して、徳島科学技術高校と安全性の確保等について充分に協議を行うこと。 敷地周辺道路は通路字となっており、登下校の時間帯には工事車両の通行に際して生徒の安全性確保に充分配慮すること。 大型車両による資材、コンクリート等の搬出入については、周辺に周知する掲示を行うこと。 工事用排水は徳島市下水道事務所他、関連各署と協議を行い適切に処理すること。 また、工事用排水に利用する排水溝等は定期的に清掃を行い、滞留等の発生がないよう配慮すること。 同時期に行われる関連工事が互いに円滑に進捗するよう、監督員、工事関係者と充分な協議、調整を行うこと。 歩道切下工事に際しては、着工前に所轄警察署と協議を行うこと。 ◎ 本工事で使用する建設機械は、(低振動型・低騒音型)とする。 ◎ 請負者は、本工事の全部若しくは一部について、指名停止期間中の有資格者として下請契約を締結してはならない。 (なお、有資格者とは、建設工事の請負契約に係る一般競争入札及び指名競争入札参加資格審査要綱(昭和58年1月18日徳島県告示第50号)第5条の規定により参加資格の認定を受けた者をいう) ◎ 請負者は、本工事の一部を下請に付する場合には、徳島県内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。 なお、徳島県内に主たる営業所を有するもの以外と下請契約する場合は、県内業者を選定しない理由を記した理由書を発注者に提出しなければならない。																																																														
② 工事関係図書																																																																	
◎ 工事カルテの作成、登録 請負者は、請負金額が2,500万円以上の工事については、工事実績情報サービス（ORINS）に基づき受注、変更、竣工及び訂正時ごとに「工事カルテ」を作成し、「工事カルテ」の写しを監督員に提出して内容の確認を受けた後、(財)日本建設情報総合センターにフロッピーディスク等により登録しなければならない。 登録は、受注時は契約締結後10日以内(ただし、土・日・祝日等は除く)登録内容変更時は変更があった日から10日以内(ただし、土・日・祝日等は除く)完成時は工事完成後10日以内(ただし土・日・祝日等は除く)訂正時は適宜とする。また、その都度センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出しなければならない。 変更時登録については、請負金額、工期、主任(監理)技術者、現場代理人の変更があった場合に登録を行うこと。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。 契約変更により請負金額が500万円以上2,500万円未満となった場合は、登録を削除し、新たに500万円以上2,500万円未満工事として、変更契約時の工事内容を受注時として登録すること。																																																																	
◎ 本工事が、低入札価格制度の調査基準価格を下回って落札した場合において、施工体制台帳の内容についての重点的なヒアリングを発注者から求められたときには、請負者の代表者、支店長、営業所長等(以下「請負者」という)は応じなければならない。 また、施工計画書の内容についての重点的なヒアリングを発注者から求められた場合には、請負者は応じなければならない。																																																																	
◎ 暴力団等からの不当要求又は工事妨害(以下「不当介入という)の排除について 1)請負者は、受注工事に關し、暴力団等から不当介入を受けた場合((2)に規定する場合は、下請負人から報告があったとき)には、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、併せて所轄の警察署に届け出ることを。 2)請負者は、受注工事の一部について、他の建設業者に下請負させた場合においては、当該下請負工事の施工に關し、下請負人が暴力団等からの不当介入を受けたときは、請負者にその旨を報告することを義務付けること。 3)請負者は、発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じること。 4)請負者は、排除対策を講じたにもかかわらず、工期に遅れが生じるおそれがある場合には、発注者と工程に関する協議を行うこと。 5)請負者は、発注者と工程に関する協議を行った結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、徳島県公共工事標準請負約款(以下「約款」という)第2 1 条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと。 6)請負者は、暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害届を速やかに所轄の警察署に提出すること。請負者は、当該被害により、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。その結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、請負者は約款第21条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと。																																																																	
◎ 施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書を作成し、監督員に提出すること。																																																																	
◎ 施工図、現寸図、見本等は、監督員の指示により、速やかに監督員に提出すること。																																																																	
③ 工事現場管理																																																																	
◎ 工事関係図書及び監督員から指示された事項等については、施工に携わる下請負人にも十分周知徹底すること。 ◎ 工事現場には、営繕課指定の工事標識を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。 ◎ 工事現場における現場代理人、監理技術者、主任技術者の確認のため、名札を着用すること。 ◎ 工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと。 ◎ 電気保安技術者は、次の者とする。 ・当該工事における電気工作物の工事を行うに当たり必要な電気主任技術者 ・監督員の承諾を受けた者 ◎ 工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建設工事公衆災害防止対策要綱(平成5年1月12日建設省建経第1号)建設副産物適正処理推進要綱(平成5年1月12日建設省建経第3号)その他関係法令に従い適切に処理すること。 ◎ 道路及び周辺の土地、家屋、工作物等を損傷しないよう必要な予防処置を行うこと。損傷を与えた場合は、請負業者の負担で、その都度補修又は賠償すること。 ◎ 元請け業者は、過積載による違法通行の防止に関し、特に次の事項について留意し、下請け業者を指導すること。 ・積載重量制限を越えた土砂等の積み込みを行わないこと ・さし枠装備車、不表示車は使用しないこと ・過積載車両、さし枠装備車、不表示車から土砂等の引き渡しを受けないこと ・建設発生土の処理及び骨材の購入に当たっては、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害さないこと ・過積載による違法通行により、逮捕または起訴された建設業者は、指名停止措置を講ずる場合がある ◎ 工事車両の駐車場所及び資材置場は図示による。 ◎ 発生材の処理等は、次により適正に行う。 1)工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び骨髄材と判断される物については、報告及び引き渡しの要する。 2)上記以外の発生材は、再生資源の利用の促進に関する再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律その他関係法令等に従い処理すること。 図書に表示のないものについては、監督員(契約書に規定する監督員をいい、標仕の規定による場合は監督職員と読み替える、以下同じ)に報告し指示を仰ぐこと。 3)撤去物の種類、規模、構造、撤去方法、養生方法、発生材の処分場を記載する。 ・産業廃棄物の種類ごとに下記を指定する。																																																																	
<table border="1"><thead><tr><th>種 類</th><th>処分許可業者の会社名(処分区分)</th><th>所在地(処分地)</th><th>運搬距離(km)</th><th>処分費(円)</th><th>単 位(税別、t,m3)</th></tr></thead><tbody><tr><td>コンクリート(無筋)</td><td>四国リサイクル(株)(中関処分)</td><td>石井町石井字白鳥3 6 9－1 石井町高川原字高川原1 6 9 6－1</td><td>7.0</td><td>700</td><td>t</td></tr><tr><td>コンクリート(有筋)</td><td>四国リサイクル(株)(中関処分)</td><td>石井町石井字白鳥3 6 9－1 石井町高川原字高川原1 6 9 6－1</td><td>7.0</td><td>900</td><td>t</td></tr><tr><td>アスファルト</td><td>四国リサイクル(株)(中関処分)</td><td>石井町石井字白鳥3 6 9－1 石井町高川原字高川原1 6 9 6－1</td><td>7.0</td><td>800</td><td>t</td></tr><tr><td>金属</td><td>三木資源(株)</td><td>徳島市昭和町8丁目2番地 徳島市塩田町8丁目2番地</td><td>7.2</td><td>10,000</td><td>m3</td></tr><tr><td>木材</td><td>バンドウクリエート(株)</td><td>徳島市山田町月の宮7 4－2 徳島市山田町月の宮8番地1</td><td>10.3</td><td>19,040</td><td>t</td></tr><tr><td>廃プラスチック</td><td>阿波総合建設(株)</td><td>藍住町住吉字藤の木8 5－1 阿波町字東長峰5 3 2－1</td><td>37.4</td><td>14,000</td><td>t</td></tr><tr><td>汚泥</td><td>宮崎基礎建設(株)</td><td>鳴門市大麻町三匠字津久田6 1番地1 鳴門市大麻町三匠字津久田4-1</td><td>8.6</td><td>12,000</td><td>t</td></tr><tr><td>石膏ボード</td><td>東條商事(株)</td><td>板野町矢武字南川岸43-1 板野町犬伏字西浦谷11-2-14他</td><td>12.6</td><td>20,000</td><td>t</td></tr><tr><td>ガラス</td><td>松浦開発興業(株)</td><td>板野町大字宇門ノ前155-3 鳴門市撫養町木津時イケア谷1449-1-16</td><td>14.8</td><td>1,500</td><td>m3</td></tr></tbody></table>						種 類	処分許可業者の会社名(処分区分)	所在地(処分地)	運搬距離(km)	処分費(円)	単 位(税別、t,m3)	コンクリート(無筋)	四国リサイクル(株)(中関処分)	石井町石井字白鳥3 6 9－1 石井町高川原字高川原1 6 9 6－1	7.0	700	t	コンクリート(有筋)	四国リサイクル(株)(中関処分)	石井町石井字白鳥3 6 9－1 石井町高川原字高川原1 6 9 6－1	7.0	900	t	アスファルト	四国リサイクル(株)(中関処分)	石井町石井字白鳥3 6 9－1 石井町高川原字高川原1 6 9 6－1	7.0	800	t	金属	三木資源(株)	徳島市昭和町8丁目2番地 徳島市塩田町8丁目2番地	7.2	10,000	m3	木材	バンドウクリエート(株)	徳島市山田町月の宮7 4－2 徳島市山田町月の宮8番地1	10.3	19,040	t	廃プラスチック	阿波総合建設(株)	藍住町住吉字藤の木8 5－1 阿波町字東長峰5 3 2－1	37.4	14,000	t	汚泥	宮崎基礎建設(株)	鳴門市大麻町三匠字津久田6 1番地1 鳴門市大麻町三匠字津久田4-1	8.6	12,000	t	石膏ボード	東條商事(株)	板野町矢武字南川岸43-1 板野町犬伏字西浦谷11-2-14他	12.6	20,000	t	ガラス	松浦開発興業(株)	板野町大字宇門ノ前155-3 鳴門市撫養町木津時イケア谷1449-1-16	14.8	1,500	m3
種 類	処分許可業者の会社名(処分区分)	所在地(処分地)	運搬距離(km)	処分費(円)	単 位(税別、t,m3)																																																												
コンクリート(無筋)	四国リサイクル(株)(中関処分)	石井町石井字白鳥3 6 9－1 石井町高川原字高川原1 6 9 6－1	7.0	700	t																																																												
コンクリート(有筋)	四国リサイクル(株)(中関処分)	石井町石井字白鳥3 6 9－1 石井町高川原字高川原1 6 9 6－1	7.0	900	t																																																												
アスファルト	四国リサイクル(株)(中関処分)	石井町石井字白鳥3 6 9－1 石井町高川原字高川原1 6 9 6－1	7.0	800	t																																																												
金属	三木資源(株)	徳島市昭和町8丁目2番地 徳島市塩田町8丁目2番地	7.2	10,000	m3																																																												
木材	バンドウクリエート(株)	徳島市山田町月の宮7 4－2 徳島市山田町月の宮8番地1	10.3	19,040	t																																																												
廃プラスチック	阿波総合建設(株)	藍住町住吉字藤の木8 5－1 阿波町字東長峰5 3 2－1	37.4	14,000	t																																																												
汚泥	宮崎基礎建設(株)	鳴門市大麻町三匠字津久田6 1番地1 鳴門市大麻町三匠字津久田4-1	8.6	12,000	t																																																												
石膏ボード	東條商事(株)	板野町矢武字南川岸43-1 板野町犬伏字西浦谷11-2-14他	12.6	20,000	t																																																												
ガラス	松浦開発興業(株)	板野町大字宇門ノ前155-3 鳴門市撫養町木津時イケア谷1449-1-16	14.8	1,500	m3																																																												
④ 材料製品等																																																																	
◎ 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するものと及び同等以上のものとする。ただし、同等品以上のものとする場合は監督員の承諾を受ける。 なお、「評価名簿による」と記載されているものは、国土交通省大臣官庁営繕部監修「建築材料等評価名簿(平成21年版)」記載品を指すものとする。 また、メーカーを2社以上記載してあるものは、参照図面と異なっても、採用メーカーの仕様とする。 ◎ 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。																																																																	
⑤ 化学物質を発散する建築材料等																																																																	
◎ 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。 1)合板、木質系7α-ワグ、構造用N 材、集成材、單板積層材、MDF、パネﾙボード、その他の木質建材、3mm樹面板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2)保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びシアンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3)接着剤は、7αハジ-n-ブチル及び7αハジ-g-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、7シブチルデヒド、DMF、キシレン、エタベンゾンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4)塗料は、ホルムアルデヒド、DMF、キシレン、エタベンゾンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5)1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。																																																																	
⑥ 施 工																																																																	
◎ 工事																																																																	

[illegible]

④ 地 業 工 事	1 一般事項	◎ 試験杭の位置及び本数は次のとおりとする。 位置(図示) 本数(6箇所)	3 支持力及び 支持地盤の確認	◎ 掘削孔の側壁の確認を行う装置を使用 (・する ○しない) 支持層の確認は、掘削した土砂を確認し、監督員の承認を受けること。 拡底杭は、(財)日本建築センターの評価工法とする。 工法名() <table border="1"> <tr> <td>工 法</td><td>設計支持力</td><td>支持力の算定方法又は確認方法</td></tr> <tr> <td>打込み工法</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>特定埋込工法</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>セメントミルク工法</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>場所打ちコンクリート杭</td><td></td><td></td></tr> </table>	工 法	設計支持力	支持力の算定方法又は確認方法	打込み工法			特定埋込工法			セメントミルク工法			場所打ちコンクリート杭			④ 鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、標仕表5.3.3の数値に10mmを加えた数値を標準とする。	◎ 柱、梁の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、標仕表5.3.3の数値に10mmを加えた数値を標準とする。	④ 製造工場の選定	3)安全と認められる骨材の使用																																										
工 法	設計支持力	支持力の算定方法又は確認方法																																																															
打込み工法																																																																	
特定埋込工法																																																																	
セメントミルク工法																																																																	
場所打ちコンクリート杭																																																																	
2 鋼杭仕様	◎ 種類は (○鋼管杭 ・H形鋼杭) とし、J I S 規格品とする。 <table border="1"> <tr> <td>規格名称</td><td>鋼管杭</td></tr> <tr> <td>規格番号</td><td>JIS A 5525</td></tr> <tr> <td>種類の記号</td><td>SKK400,SKK490</td></tr> </table> ◎ 工法 ・打ち込み工法 : プレボーリング掘削長さG Lー m オーガー径 mm ・特定埋込杭工法 : 建築基準法による。 ◎大臣認定工法 回転貫入 (圧入) 杭工法 ◎ 先端部の形状は (・開放形 ・半開放形 ・閉塞形 ○翼 (羽根) 付き) とし、補強は、メーカー仕様による。 ◎ 鋼管ぐいの現場継手の形状は、特記による。 ◎ 杭頭処理は定規を用い、ガス切断により、水平かつ平滑に仕上げる。 ◎ 溶接部の確認は、標仕7.6.10により行い、確認結果の記録を監督職員に提出し、標仕7.6.12により補修を行う。	規格名称	鋼管杭	規格番号	JIS A 5525	種類の記号	SKK400,SKK490	4 載荷試験	杭の載荷試験は (・鉛直 ・水平) 載荷試験とし、載荷荷重は () とする。 また、試験位置は図示のとおりとする。 地盤の平板載荷試験 (載荷荷重) は (・行う ・行わない) また、試験位置は図示のとおりとする。 ◎ 材料は、市場品とする。 ◎ 砂利及び砂地業 ○厚さが300mmを越える場合は、300mmごとに締めめを行う。 ○砂利は、 (・切込砂利 ・切込碎石 ○再生汚かみ) とする。 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th><th>使用部位</th><th>厚 さ</th><th>粒度範囲</th></tr> <tr> <td>切込砂利</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>切込碎石</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>再生汚かみ</td><td>図示</td><td>図示</td><td>RC-40</td></tr> </table> ・締めめは、ランマー3回突き、振動コンパクター2回締め又は振動ローラー締めとする。締めめによる凹凸は目つぶし砂利で上均しをする。 割り石地業 ・割り石の敷並べは、原則として、1層とし、大きな間隙のないように行う。また、敷並べ後、目つぶし砂利を充填し、締め固める。 ・締めめは、ランマー3回突き、振動コンパクター2回締め又は振動ローラー締めとする。締めめによる凹凸は目つぶし砂利で上均しをする。 ◎ 締め固め機械の選定に当たっては、地質の状況を検討し監督員の承認を得ること。 ◎ 捨コンクリートは、無筋コンクリート(スランプ15cm、設計基準強度18N/mm²)とし、厚さは、50mmとする。 ◎ 床下防湿層は、オ ーレンフ(膜厚さ0.15mm以上、重ね合せ及び基礎梁際のみ込みは250mm、断熱材のある場合のみ込みは400mm以上とする。 ◎ 防湿層の位置は、土間スラブの直下とする。ただし、断熱材がある場合は、断熱材の直下とする。	種 別	使用部位	厚 さ	粒度範囲	切込砂利				切込碎石				再生汚かみ	図示	図示	RC-40	⑤ 砂利・砂・割り石及び 捨コンクリート地業等	⑤ 帯 筋	◎ 目地がある場合のかぶり厚は、目地底からの寸法とする。	⑤ 型 枠	◎ 工事開始に先立ち、工場を選定し、監督職員の承認を受ける。																																			
規格名称	鋼管杭																																																																
規格番号	JIS A 5525																																																																
種類の記号	SKK400,SKK490																																																																
種 別	使用部位	厚 さ	粒度範囲																																																														
切込砂利																																																																	
切込碎石																																																																	
再生汚かみ	図示	図示	RC-40																																																														
				⑥ 配筋検査	◎ 補強形式：鉄筋コンクリート構造配筋基準による。	◎ 梁貫通補強に建設技術評価規定に基づく評価品を使用する場合は、それぞれの部分についてメーカーの構造計算書を提出し、監督員の承認を得ること。	6 寒中コンクリート	◎ 型枠は、(・メッシュ ・合板 ・金属製 ・樹脂系 ・打込型枠 ・ブロッ) とする。																																																									
				⑦ ガス圧接	◎ 圧接技量資格者は、工事に相応したJIS Z3881(ガス圧接技術検定に試験方法及び判定基準)による技量を有する者とする。	◎ 検査は、外観検査及び(・引張試験 ○超音波探傷試験)による。	7 無筋コンクリート	型枠の種類 仕上の種別 塗装の有無 材 質 適用箇所																																																									
				⑧ コンクリートの仕上り	◎ 設計基準強度	◎ 切取り部分の継手は(○圧接 ・重ね継手)とする。	8 マスコンクリート	<table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 F(N/mm²)</th><th>スランプ (cm)</th><th>粗骨材の 最大寸法 (mm)</th><th>強度試験の 有無</th><th>種別</th><th>気乾単位 容積質量 (t/m³)</th><th>適用箇所</th></tr> <tr> <td>24</td><td>18</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>1階</td></tr> <tr> <td>24</td><td>18</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>2階以下</td></tr> <tr> <td>24</td><td>18</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>2階以下</td></tr> <tr> <td>24</td><td>18</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>1階以下</td></tr> <tr> <td>21</td><td>15</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>外構</td></tr> <tr> <td>24</td><td>18</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>2階以下</td></tr> <tr> <td>24</td><td>18</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>2階以下</td></tr> </table>	設計基準強度 F(N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	強度試験の 有無	種別	気乾単位 容積質量 (t/m ³)	適用箇所	24	18	20	有	普通	2.3	1階	24	18	20	有	普通	2.3	2階以下	24	18	20	有	普通	2.3	2階以下	24	18	20	有	普通	2.3	1階以下	21	15	20	有	普通	2.3	外構	24	18	20	有	普通	2.3	2階以下	24	18	20	有	普通	2.3	2階以下	◎ スリーブの材種(硬質塩化ビニル管)
設計基準強度 F(N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	強度試験の 有無	種別	気乾単位 容積質量 (t/m ³)	適用箇所																																																											
24	18	20	有	普通	2.3	1階																																																											
24	18	20	有	普通	2.3	2階以下																																																											
24	18	20	有	普通	2.3	2階以下																																																											
24	18	20	有	普通	2.3	1階以下																																																											
21	15	20	有	普通	2.3	外構																																																											
24	18	20	有	普通	2.3	2階以下																																																											
24	18	20	有	普通	2.3	2階以下																																																											
④ 鉄 筋 工 事	① 一般事項	◎ 設計基準強度	◎ 主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員の検査を受ける。	⑤ コン クリ ー ト 工 事	② 一般事項	◎ 設計基準強度	◎ 検査は、外観検査及び(・引張試験 ○超音波探傷試験)による。	7 無筋コンクリート	◎ 打ち敷し仕上げの打ち増し厚さは図示による。																																																								
		<table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 F(N/mm²)</th><th>スランプ (cm)</th><th>粗骨材の 最大寸法 (mm)</th><th>強度試験の 有無</th><th>種別</th><th>気乾単位 容積質量 (t/m³)</th><th>適用箇所</th></tr> <tr> <td>24</td><td>18</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>1階</td></tr> <tr> <td>24</td><td>18</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>2階以下</td></tr> <tr> <td>24</td><td>18</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>2階以下</td></tr> <tr> <td>24</td><td>18</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>1階以下</td></tr> <tr> <td>21</td><td>15</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>外構</td></tr> <tr> <td>24</td><td>18</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>2階以下</td></tr> <tr> <td>24</td><td>18</td><td>20</td><td>有</td><td>普通</td><td>2.3</td><td>2階以下</td></tr> </table>	設計基準強度 F(N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	強度試験の 有無	種別	気乾単位 容積質量 (t/m ³)	適用箇所	24	18	20	有	普通	2.3	1階	24	18	20	有	普通	2.3	2階以下	24	18	20	有	普通	2.3	2階以下	24	18	20	有	普通	2.3	1階以下	21	15	20	有	普通	2.3	外構	24	18	20	有	普通	2.3	2階以下	24	18	20	有	普通	2.3	2階以下	◎ 合板せき板を用いる打敷し上げの種別は (○A ○B ○C) 種とする。	8 マスコンクリート	◎ 誘発目地の位置、形状及び寸法は図示による。				
設計基準強度 F(N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	強度試験の 有無	種別	気乾単位 容積質量 (t/m ³)	適用箇所																																																											
24	18	20	有	普通	2.3	1階																																																											
24	18	20	有	普通	2.3	2階以下																																																											
24	18	20	有	普通	2.3	2階以下																																																											
24	18	20	有	普通	2.3	1階以下																																																											
21	15	20	有	普通	2.3	外構																																																											
24	18	20	有	普通	2.3	2階以下																																																											
24	18	20	有	普通	2.3	2階以下																																																											
	◎ コンクリートの仕上り	◎ コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容値は、標仕表6.2.2による。	⑤ コン クリ ー ト 工 事	③ 普通コンクリート	◎ コンクリートの仕上がりの平たんさは標仕表6.2.4による。	◎ 所要空気量は4.5%±1.5%とする。	◎ 強度管理の材齢は、() 日とする。																																																										
			⑤ 鉄 筋 工 事		◎ セメントの種類は、普通ポルトランドセメント、又は混合セメントのA種とする。	◎ 読負者は、コンクリートの使用にあたってアルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの対策の中のいずれか1つについて確認をとらなければならない。	◎ 初期養生を行う期間は、コンクリートの圧縮強度が5N/mm ² に達するまでとする。																																																										
④ 鉄 筋 工 事	② 材料	<table border="1"> <tr> <th>規格番号</th><th>規格名称</th><th>種類の記号</th><th>径(mm)</th></tr> <tr> <td rowspan="3">JIS G 3112</td><td rowspan="3">鉄筋コンクリート用棒鋼</td><td>SD295A</td><td>D10～D16</td></tr> <tr> <td>SD345</td><td>D19～D29</td></tr> <tr> <td>SD390</td><td>D32</td></tr> <tr> <td>—</td><td>建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋</td><td>—</td><td></td></tr> <tr> <td>JIS G 3551</td><td>溶接金網及び鉄筋格子</td><td></td><td>網目の形状：寸法： </td></tr></table>	規格番号	規格名称	種類の記号	径(mm)	JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A	D10～D16	SD345	D19～D29	SD390	D32	—	建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋	—		JIS G 3551	溶接金網及び鉄筋格子		網目の形状：寸法：																																											
規格番号	規格名称	種類の記号	径(mm)																																																														
JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A	D10～D16																																																														
		SD345	D19～D29																																																														
		SD390	D32																																																														
—	建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋	—																																																															
JIS G 3551	溶接金網及び鉄筋格子		網目の形状：寸法：																																																														

1 6

建具工事

1 一般事項

◎ 外部に面する建具は、建築基準法施行令及び「屋根ふき材、外装材料及び屋外に面する軒壁の基準（昭和46年建設省告示第109号）」に基づき、安全性を確認すること。

◎ 建具見本の製作及び特殊な建具の仮組は、建具表による。

2 アルミニウム製建具

種 別	遮音性	断熱性	面内変形追従性	使用箇所	表面処理
B種				図示	B-1種

◎ 水切：見込寸法 120 建具同仕上

◎ 額縁：見込寸法 60・75×25 建具同仕上

◎ 防鳥網の材質は、ステンレス(SUS304)線材、線径1.5mm、ピッチ15mmとする。

◎ 製作所：三協立山77ミ,YKK A.P.,不二77ミ

◎ 建具にはJISマーク及び製作者名を表示すること。

3 鋼製建具

耐風圧性	気密性	水密性	遮音性	断熱性	面内変形追従性	使用箇所	表面処理
S-5	図示	図示	図示		D-2	図示	図示

◎ 防水77ミの指定及び鋼板の厚さは建具表による。

◎ 鋼板はJISG3032(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)による表面処理亜鉛めっき鋼板とし、めっき付着量は(Z12又はF12)以上とする。

◎ 製作所：日鋼77ミ製作所,三和77ミ工業,文化77ミ工業

◎ 標準型鋼製建具は、標仕16.3.6により寸法及び金物を標準化したものとする。

4 鋼製軽量建具

気密性	遮音性	断熱性	面内変形追従性	使用箇所	表面処理
図示	図示		D-2	図示	図示

◎ 製作所：小松77ミ工業,文化77ミ工業,三和77ミ工業

◎ 標準型鋼製軽量建具は、標仕1 6 . 4 . 6により寸法及び金物を標準化したものとする。

5 建具金物

◎ 既成又はこれに準ずる建具の建具金物は、建具製作所の仕様による。

◎ マスターキーは、製作する(1組) (既存施設同仕様)

◎ その他、詳細は建具付記事項による

6 自動ドア開閉装置

設置場所	玄関ロタス
駆動方式	電気式(非常時開放装置組込(バッチ内蔵型))
検出装置	音波式(内部：天井埋込,外部：幕板)

扉の開閉装置引分け戸

◎ 身障者仕様：車椅子,視覚障害者対応

◎ 製作所：ヤマト77ミ,寺岡77ミ77ミ,扶桑電機工業

6 白閉式上吊引上げ装置

設置場所	手動開き力	手動閉じ力	閉じ速度の調整	制動区間	開閉繰返し	耐衝撃性
多目的使用・保健室	標仕16.9.1による					

◎ 製作所：小松77ミ工業,文化77ミ工業,三和77ミ工業

7 重量シャッター

設置場所	図示		
強 度		耐風圧強度	1200Pa

シャッターの種類

・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター

・屋内防火用シャッター ◎防煙シャッター

開閉機能

・上部電動式(手動併用) ◎上部手動式

安全装置

障害物感知装置 シャッター止仕様 天井内仕様・露出仕様

◎ 製作所：文化77ミ工業,三和77ミ工業,東洋77ミ工業

8 軽量シャッター

設置場所	図示		
強 度		耐風圧強度	1000Pa

開閉機能

・上部電動式(手動併用) ◎上部手動式

安全装置

スラック仕様 塗装亜鉛めっき鋼板

シャッター止仕様 露出仕様

ガイドレール仕様 SUS# -1.5 HL

中柱の補強

無 座 板 SUS# -1.5 HL

◎ 製作所：文化77ミ工業,三和77ミ工業,東洋77ミ工業

9 ガラス

◎ ガラスとめ材の種類

建具の種類	材 料
鋼 製	シーリング材
アルミニウム製	シーリング材,ガラス
ステンレス製	
木 製	

◎ シーリング材の種類は19章防水工事による

◎ 防水設備のガラスとめ材は、防水設備認定品とする。

1 7

カーテンウォール工事

1 一般事項

◎ カーテンウォールの諸性能

耐風圧性	耐湿性	水密性	気密性	耐火性	耐温度差性	遮音性	断熱性	備 考
S-5		W-5	A-4					

◎ 特記のない諸性能については、JASS14 カーテンウォール工事に準ずる

◎ 製作所：三協立山77ミ,YKK A.P.,不二77ミ

2 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

区 分	種 別	素地ごしらえ	さび止め塗料	備考
鉄部	B種		標仕18.2.3による	A種
				塗料の種類：1種

◎ 区 分 種 別 素地ごしらえ 備考

木部 B種 標仕18.2.2による

3 クリヤラッカー塗リ(OK)

区 分	種 別	素地ごしらえ	備考
木部	B種		標仕18.2.2による

◎ 区 分 種 別 素地ごしらえ 備考

木部 B種 標仕18.2.2による

4 フタル樹脂系エナメル塗り(FE)

区 分	種 別	素地ごしらえ	さび止め塗料	備考

◎ 区 分 種 別 素地ごしらえ 備考

鉄部 B種 標仕18.2.2による

5 アクリル樹脂系非分散形塗料塗り(EP-G)

区 分	種 別	素地ごしらえ	備考

◎ 区 分 種 別 素地ごしらえ 備考

鉄部 B種 標仕18.2.3による

6 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)

区 分	種 別	素地ごしらえ	備考
コ77ミ	B種	標仕18.2.6による	
せっこうボード その他のボード	B種	標仕18.2.7による	

◎ 区 分 種 別 素地ごしらえ 備考

鉄部 B種 標仕18.2.3による

7 屋内水系塗料塗り(EP-G)

区 分	種 別	素地ごしらえ	備考
木部			標仕18.2.2による
	鉄部	B種	標仕18.2.3による

8 フ素樹脂77ミ塗料(フ素樹脂77ミ)

◎ 低汚染常乾形フ素樹脂塗料(艶消し)

◎ 製造所：日本ペイント「デュ77ミ4FIIフ素系パワフルシャッター」,関西ペイント「アルカドNF」

9 フ素樹脂塗料(FP)

◎ 低汚染常乾形フ素樹脂塗料(3分艶)

◎ 製造所：日本ペイント「デュ77ミ4FIIフ素」,関西ペイント「アルカド77ミ」

10 塗装仕様

◎ 図中特記のない鉄部、木部の塗装は下記による

屋外 鉄部：SOP 屋内 鉄部、木部：EP-G

1 8

塗装工事

1 一般事項

◎ 屋内の壁及び天井の塗装仕上は防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。

◎ 塗料は油質の不純出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。

◎ コ77樹脂等(コ77樹脂、キシ樹脂、フェノ樹脂、ゾ77樹脂又は8477ミデビ[®]系防腐剤)を用いた塗料の8477ミデビ[®]の発散量はF☆☆☆☆とする。

2 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

区 分	種 別	素地ごしらえ	さび止め塗料	備考
鉄部	B種		標仕18.2.3による	A種
				塗料の種類：1種

◎ 区 分 種 別 素地ごしらえ 備考

木部 B種 標仕18.2.2による

3 クリヤラッカー塗リ(OK)

区 分	種 別	素地ごしらえ	備考
木部	B種		標仕18.2.2による

◎ 区 分 種 別 素地ごしらえ 備考

木部 B種 標仕18.2.2による

4 フタル樹脂系エナメル塗り(FE)

区 分	種 別	素地ごしらえ	さび止め塗料	備考

◎ 区 分 種 別 素地ごしらえ 備考

鉄部 B種 標仕18.2.2による

5 アクリル樹脂系非分散形塗料塗り(EP-G)

区 分	種 別	素地ごしらえ	備考

◎ 区 分 種 別 素地ごしらえ 備考

鉄部 B種 標仕18.2.3による

6 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)

区 分	種 別	素地ごしらえ	備考
コ77ミ	B種	標仕18.2.6による	
せっこうボード その他のボード	B種	標仕18.2.7による	

◎ 区 分 種 別 素地ごしらえ 備考

鉄部 B種 標仕18.2.3による

7 屋内水系塗料塗り(EP-G)

区 分	種 別	素地ごしらえ	備考
木部			標仕18.2.2による
	鉄部	B種	標仕18.2.3による

8 フ素樹脂77ミ塗料(フ素樹脂77ミ)

◎ 低汚染常乾形フ素樹脂塗料(艶消し)

◎ 製造所：日本ペイント「デュ77ミ4FIIフ素系パワフルシャッター」,関西ペイント「アルカドNF」

9 フ素樹脂塗料(FP)

◎ 低汚染常乾形フ素樹脂塗料(3分艶)

◎ 製造所：日本ペイント「デュ77ミ4FIIフ素」,関西ペイント「アルカド77ミ」

10 塗装仕様

◎ 図中特記のない鉄部、木部の塗装は下記による

屋外 鉄部：SOP 屋内 鉄部、木部：EP-G

1 9

内装工事

1 ビニル床シート張り及びビニル床タイル張り

◎ 低汚染常乾形フ素樹脂塗料(艶消し)

◎ 製造所：日本ペイント「デュ77ミ4FIIフ素」,関西ペイント「アルカド77ミ」

2 カバーペット敷き

材 質	種類	色柄	厚さ	巾巾	材質	厚さ	高さ	接着剤	施工箇所	備考
ビニル床シート	NC	無地	2.5	ビニル	2.0	60	2mm	接着剤	図示	熱溶接工法
ビニル床タイル	CT	77ミ	2.0	ビニル	2.0	60	2mm	接着剤	図示	

◎ 製造所：ビニル床シート：東リ「フタ77ミ プレーン」,タタ「バーチャム」,サンゲツ「エス77ミ プレーン」

ビニル床タイル：東リ「マ77ミ」,タタ「77ミ」,サンゲツ「77ミ」

3 合成樹脂塗床

材 質	仕上の種類	備 考
水性77ミ樹脂系	コーティング工法	

◎ コ77樹脂等(コ77樹脂、キシ樹脂、フェノ樹脂、ゾ77樹脂又は8477ミデビ[®]系防腐剤)を用いた塗料の8477ミデビ[®]の発散量はF☆☆☆☆とする。

◎ 製造所：ABC商会「77ミ」 EP77ミ水性VOC」,77ミ塗料「77ミ77ミ-WE」,中外商工「77ミ77ミ77ミ77ミ」

4 防塵塗料

◎ 水性77ミ樹脂系防塵塗料

◎ 77ミ塗布

◎ 製造所：ABC商会「077ミ77ミ」,77ミ塗料「77ミ77ミ-WE」,中外商工「77ミ77ミ77ミ77ミ」

2 0

ユニット及びその他工事

5 フロアリング張り

◎ 8477ミデビ[®]の発散量はF☆☆☆☆とする。

種 別	樹種	厚さ	寸法	模様	工 法	釘、接着剤の種類	防火性能
単層77ミワグ	松	15	80×180		接着工法		

◎ 仕 上：ウレタン塗終仕上(工場塗装)

◎ 使用材料：県産材を使用すること

◎ 種別(・A種 ・B種 ・C種 ・D種)

◎ 登表及び登床はVOC含有量の少ないものとする。

6 登敷き

◎ 種別(・A種 ・B種 ・C種 ・D種)

◎ 登表及び登床はVOC含有量の少ないものとする。

7 せっこうボード

その他のボード及び合板類

材種・規格品	施工箇所	工 法	厚さ(mm)	不燃材等の区分	小ねじ・釘接着剤の種類	下地の種類	備 考
せっこうボード	壁	突付工法	9.5	準不燃	標仕19.7.2	LGS	
		セパレート工法	12.5	不燃	標仕19.7.2	コ77ミ	LGS
	天井	突付工法	9.5	準不燃	標仕19.7.2	LGS	
		セパレート工法	12.5	不燃	標仕19.7.2	LGS	
化粧せっこうボード(トラバーチン模様)	天井	突付工法	9.5	不燃	標仕19.7.2	LGS	
JIS A 6901の規格品							
硬質せっこうボード(GB-6適合品)	壁	セパレート工法	12.5	不燃	標仕19.7.2	コ77ミ	LGS
JIS A 6901の規格品							

◎ パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする

※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆☆

材種・規格品	施工箇所	工 法	厚さ(mm)	不燃材等の区分	小ねじ・釘接着剤の種類	下地の種類	備 考
ホウ酸セメント化粧板	天井	突付工法	12.0	不燃	標仕19.7.2	LGS	
JIS A 6301の規格品	外部	目透し	8.0	不燃	標仕19.7.2	LGS	
JIS A 5430の規格品	内部	目透し	6.0	不燃	標仕19.7.2	LGS	
グラスウール吸音材	壁	がうがう張り	25.0	不燃		CON	32kg/m ³
	天井	がうがう張り	50.0	不燃		CON	32kg/m ³
JIS A 6301の規格品	天井内	77ミ	50.0	不燃			32kg/m ³

◎ 合板、パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする

◎ スライド構造遮音壁 1時間耐火・遮音(TLD-49)認定工法

◎ 製造所：吉野石膏「B15 W」,セ77ミ77ミ「耐火77ミ77ミ 15-SC・G」,セ77ミ77ミ「B15 W」

◎ スライド構造耐火壁 1時間耐火認定工法

◎ 製造所：吉野石膏「77ミ77ミ」,セ77ミ77ミ「77ミ77ミ」,セ77ミ77ミ「77ミ77ミ」

◎ 化粧材張り高密度グラウ77ミ77ミ 25(密度=80kg/m³) 出隅、廻り縁専用77ミ77ミ

◎ 製造所：旭77ミ77ミ「77ミ77ミ」,セ77ミ77ミ「77ミ77ミ」,セ77ミ77ミ「77ミ77ミ」

◎ 77ミ77ミ樹脂77ミ77ミ張り、77ミ77ミ77ミ77ミ(小口切放し仕様・不燃認定品)

◎ 製造所：77ミ工業「77ミ77ミ」不燃、セ77ミ77ミ(株)「77ミ77ミ」、誠工務店「化粧77ミ77ミ」

8 遮音壁

◎ スライド構造遮音壁 1時間耐火・遮音(TLD-49)認定工法

◎ 製造所：吉野石膏「B15 W」,セ77ミ77ミ「耐火77ミ77ミ 15-SC・G」,セ77ミ77ミ「B15 W」

9 耐火壁

◎ スライド構造耐火壁 1時間耐火認定工法

◎ 製造所：吉野石膏「77ミ77ミ」,セ77ミ77ミ「77ミ77ミ」,セ77ミ77ミ「77ミ77ミ」

10 GR化粧板

◎ 化粧材張り高密度グラウ77ミ77ミ 25(密度=80kg/m³) 出隅、廻り縁専用77ミ77ミ

◎ 製造所：旭77ミ77ミ「77ミ77ミ」,セ77ミ77ミ「77ミ77ミ」,セ77ミ77ミ「77ミ77ミ」

11 化粧タイル貼

◎ 77ミ77ミ樹脂77ミ77ミ張り、77ミ77ミ77ミ77ミ(小口切放し仕様・不燃認定品)

◎ 製造所：77ミ工業「77ミ77ミ」不燃、セ77ミ77ミ(株)「77ミ77ミ」、誠工務店「化粧77ミ77ミ」

12 壁紙張り

施工箇所	品質(製造所)	防火性能の等級	素地ごしらえ	備 考
図示	ガラス77ミ77ミ紙	1-1	標仕19.8.3	AA77ミ

◎ ホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする

13 断熱・防露

種 別	種 別	厚 さ	工 法	補修材	備 考
外壁断熱材	難燃	15mm	吹付		77ミ77ミ
壁内断熱材	難燃	30mm	打込み		
床下断熱材	難燃	50mm			防湿77ミ77ミ付

◎ ロックウール、グラウ77ミ、77ミ樹脂又は77ミ樹脂を使用した断熱材の8477ミデビ[®]の発散量はF☆☆☆☆とする

◎ 施工範囲：外壁断熱材 柱壁、梁壁(ビ77ミ天井内は吹付)及び廊下、便所、階段、F型の外壁面を除くRC外壁面

型枠兼用断熱材 配管77ミ、ビ77ミ上部の77ミ77ミ下

床下断熱材 配管77ミ以外の1階77ミ77ミ下(ビ77ミを除く)

◎ 製 造 所：外壁断熱材 77ミ77ミ「77ミ77ミ」,77ミ77ミ「77ミ77ミ」

型枠兼用断熱材 77ミ77ミ「77ミ77ミ」,77ミ77ミ「77ミ77ミ」,77ミ77ミ「77ミ77ミ」

床下断熱材 77ミ77ミ「77ミ77ミ」,77ミ77ミ「77ミ77ミ」,77ミ77ミ「77ミ77ミ」

◎ 壁紙施工用でん粉系接着剤、77ミ樹脂等(77ミ樹脂、キシ樹脂、フェノ樹脂、ゾ77ミ樹脂又は8477ミデビ[®]系防腐剤)を用いた接着剤の8477ミデビ[®]の発散量はF☆☆☆☆とする。

14 接着剤

◎ 水性77ミ樹脂系防塵塗料

◎ 77ミ塗布

◎ 製造所：ABC商会「077ミ77ミ」,77ミ塗料「77ミ77ミ-WE」,中外商工「77ミ77ミ77ミ77ミ」

2 1

フリーアクセスフロア

材 質	寸 法	耐荷重性能	耐湿性能	備 考
構成材	鋼製無機質材充填	500×500	3000N	1.0G F3777用上り板(SUS製)共
表面仕上	タイル・ベア			仕組は19章内装工事による

◎ 製造所：材工業「AF-SP」,コヤマ77ミ「ホット77ミ」,日立機材「FSB500」

◎ 施工にあたっては、施工前にフリーアクセスパネル及びタイルカーベットの割付施工図を提出し、承認後に製作施工を行うこと。

2 可動間仕切

構造形式の種類	構成材の種類	遮音性	表面仕上	使用箇所	備 考
スライド式	図示	28	焼付塗装	図示	片開き扉付 バ3777厚70

◎ 図中記入の壁取付寸法、スタッド見付寸法等の詳細寸法は製造所の仕様により調整を行うこと

◎ ガラス仕様：フロートガラス厚5

◎ 製造所：小松77ミ工業「マ77ミ70」,岡村製作所「セ77ミ77ミ」,三協立山77ミ「マ77ミ70」

3 移動間仕切

操作方式の種類	表面材の材質	遮音性	表面仕上	使用箇所	圧接装置	備 考
手動式	亜鉛めっき鋼板 E=0.8 GB製打	50db	焼付塗装	図示	製造所仕様	

◎ 製造所：小松77ミ工業「小松77ミ77ミ RS-80」,岡村製作所「77ミ77ミ77ミ77ミ」,セ77ミ77ミ「セ77ミ77ミ77ミ77ミ」

4 トイレブース

◎ 表面材の材質(ステンレス板) 寸法(W(図示)×H2000×厚40)

◎ 笠木(77ミ) エッジ(77ミ77ミ77ミ77ミ) 巾木(SUS)

◎ 製作所：小松77ミ工業「TB-77ミ」,岡村製作所「セ77ミ77ミ77ミ」,コヤマ77ミ「77ミ77ミ」

5 階段滑り止め

◎ 階段滑り止めA：屋内用 階段滑り止めB：屋外用

◎ 材質(SUS) 形状(ビ77ミ77ミ) 寸法(18×37)

◎ 取付け方法は(・埋め込み工法 ◎接着工法)とする。

◎ 製作所：材工業「A：NSP-35S,B：S-37DG」,77ミ「A：SEP-352S,B：NSR-403(R)」

77ミ工業「A：YMS-33S,B：YMS-340」

6 黒板及びホワイトボード

◎ 種別(ホーロー) 枠の材質は77ミ製とする。

◎ 色彩は(◎緑 ・黒 ◎白)とする。

◎ 黒 板 A：W4500×H1200(電動77ミ77ミ付) B：W1800×H1200 C：W2700×H1200

白 板 A：W4500×H1200 B：W3600×H1200(職員室,就職指導室用：行事予定算線入)

C：W2700×H1200(校長室,教師室,生徒指導室用：行事予定算線入)

掲 示 板 A：W3600×H1200 B：W2700×H1200 C：W1800×H1200 D：W1200×H1200

上下黒板 W3600×H1800

上下白板 W3600×H1800(五線入)

引分白板 W3600×H1200(映写77ミ77ミ組込)

◎ 製造所：北島製作所、青井黒板製作所,コヤマ77ミ工業,日学

7 鏡

◎ 防湿性を有するもので、厚さ5mm、縁は()とする。

◎ 77ミ77ミ77ミ製品 W480×H1100

◎ 製造所：TOTO「YMA52K」,松下電工「CHA37M」,INAX「RF-48111」

8 カーテンレール

◎ カーテンレールは次による

材質(77ミ) 形状(角型(天井直付77ミ)) 寸法(図示)

製造所：トノ、コタ、立川77ミ77ミ工業

9 学校間仕切

◎ 鋼製不燃認定品 バ3777厚80 詳細図示

製造所：小松77ミ工業「77ミ77ミ77ミ」,三協立山77ミ「77ミ77ミ77ミ」,文化77ミ工業「77ミ77ミ77ミ77ミ77ミ」

10 洗濯機77ミ

◎ FRP製製品 W900×D640

◎ 製造所：TOTO,INAX,松下電工

11 天井点検口

◎ 材質：アルミ製(亜鉛めっき地77ミ)

寸法：450×450

仕上：天井仕上同材

◎ 施工77ミ所数：1期工事A工区(6877ミ) ,1期工事B工区(23177ミ)

2期工事(977ミ) ,駐輪場(477ミ)

◎ 製造所：材工業「77ミ77ミ77ミ」,セ77ミ77ミ「77ミ77ミ」,77ミ77ミ77ミ「77ミ77ミ」

12 床下点検口

◎ 材質：77ミ製

仕様：77ミ7

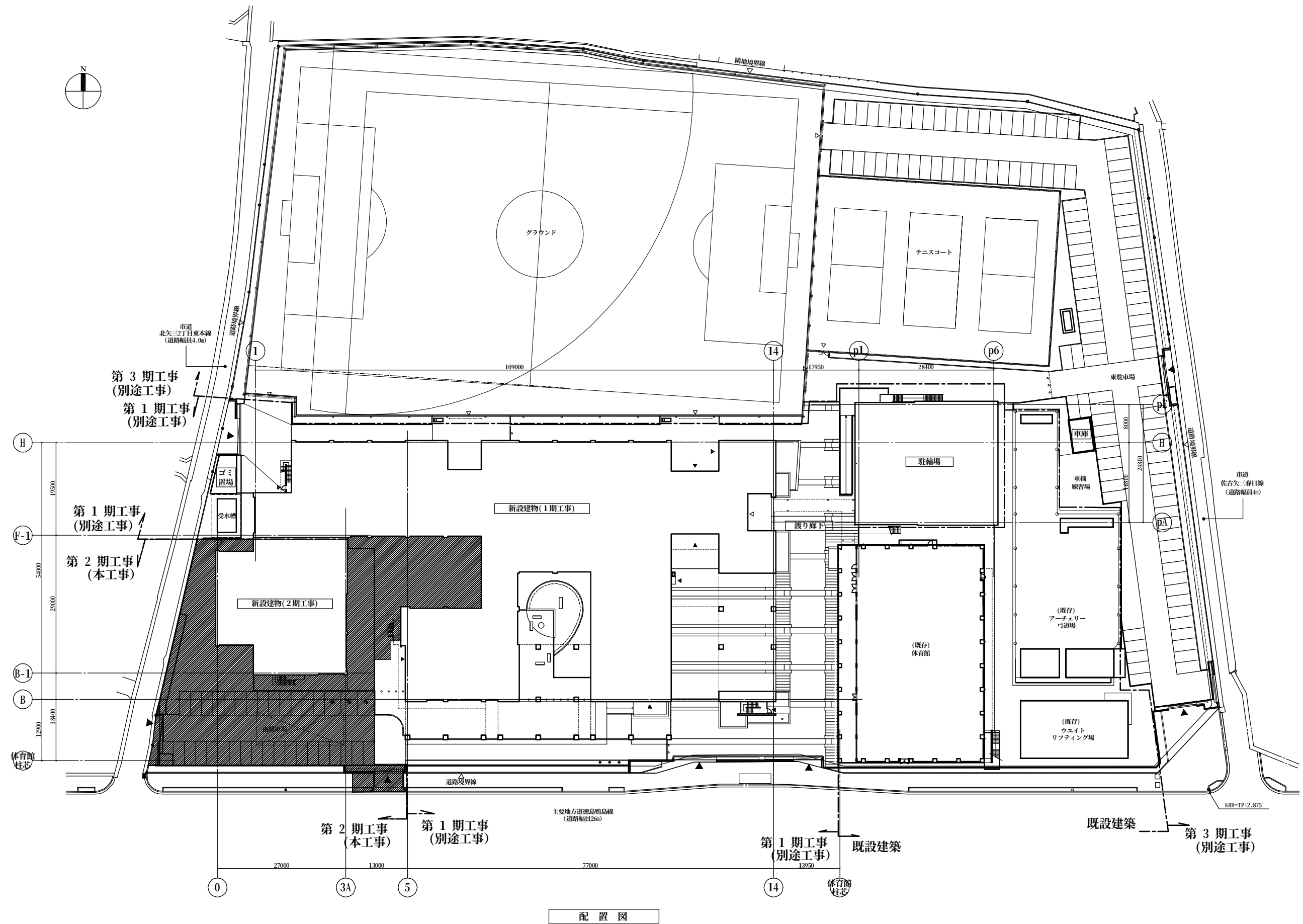
[illegible]

位 置 図 1/30000



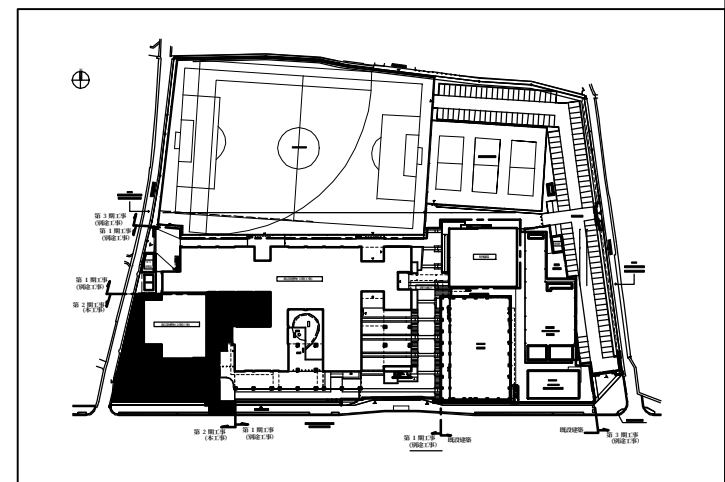
附近見取図 1/2000

[illegible]



	課長	主幹	課長補佐	技術補佐	主査兼係長	係員	担当	株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 2006181	2006.3.8.	工事名称 H21富樫 徳島科学技術高等学校 借・北矢三 外観工事	図面番号
									一級建築士 ■ 149681 吉井和男	担 当	図面名称 配置図 縮 尺 1/400	A011

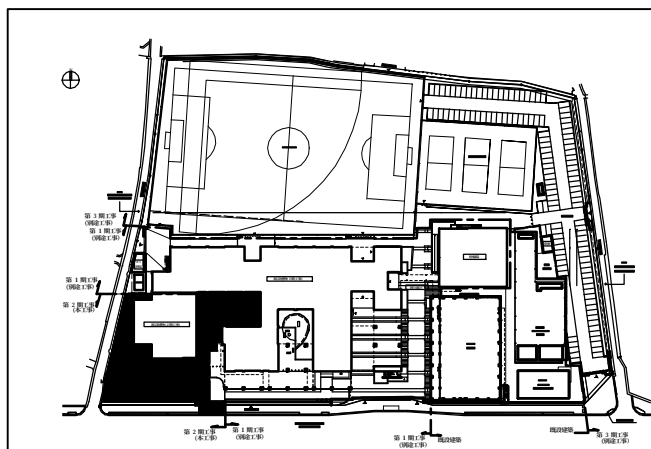
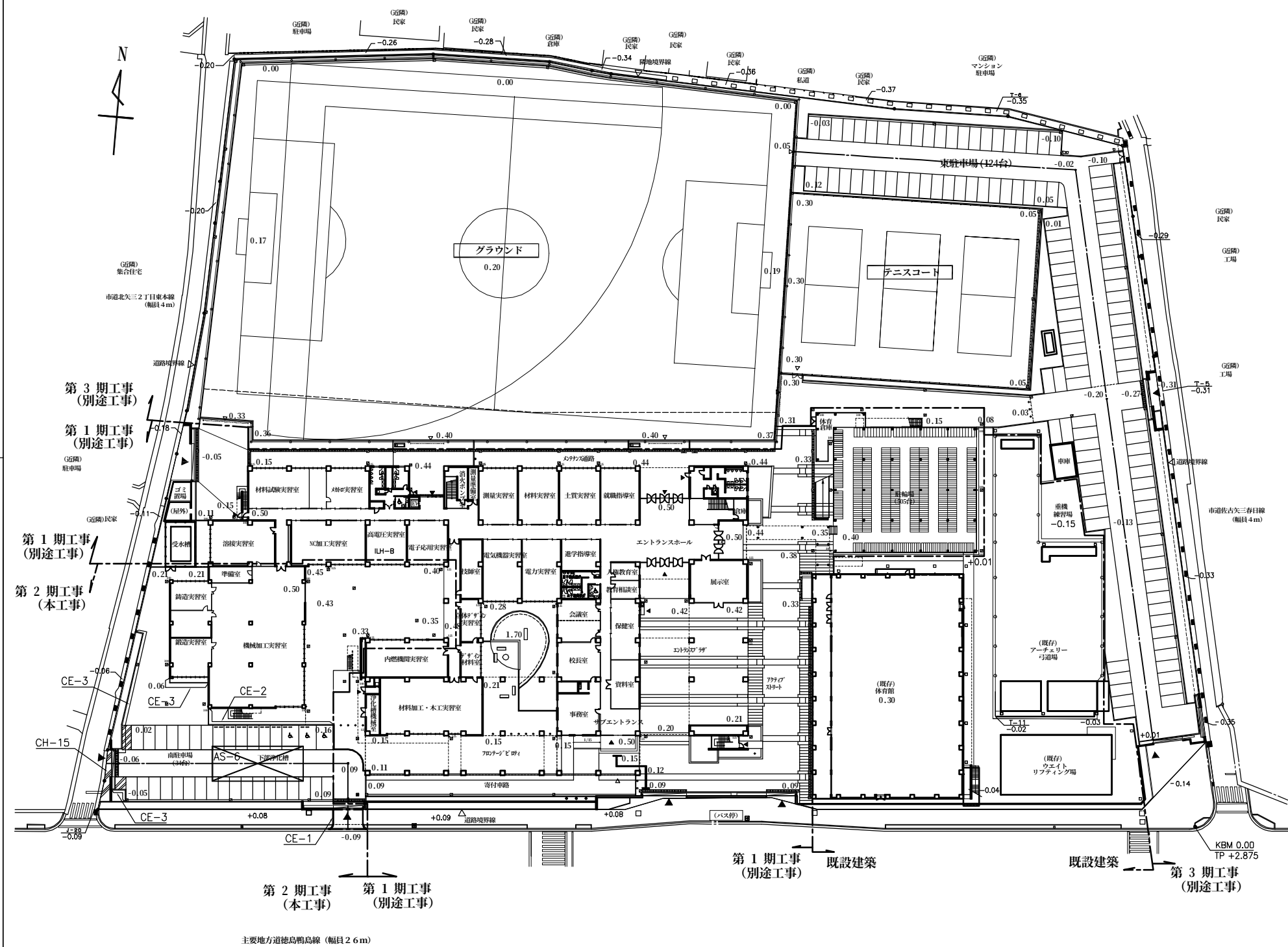
種 別	名 称	記 号		備 考
アスファルト舗装工	アスファルト舗装-6		AS-6	T-6
	(別途工事)			
コンクリート系園路工	インターロッキング舗装-A		ILH-A	3色混合 T-2
	インターロッキング舗装-B		ILH-B	3色混合 T-6
	コンクリート舗装-15		CH-15	ハケ引き仕上げ
門扉工	西門-2		NMP-2	大型伸縮引き戸
	南門-2		MMP-2	大型引き戸



	課長	主幹	課長補佐	技術補佐	主査兼係長	係員	担当	株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 2006181	2006.3.8.	工事名称 H21雪輪 徳島科学技術高等学校 雪・北矢三 外構工事	図面番号 A013
									一級建築士 監 149681	担 当	図面名称 2期工事 外構施設平面図 その1 縮 尺 1/500	
									吉井 和男			

凡 例

種 別	名 称	記 号	備 考
園路縁石工	コンクリート縁石-1		CE-1 H=0
	コンクリート縁石-2		CE-2 H=20
	コンクリート縁石-3		CE-3 H≦150

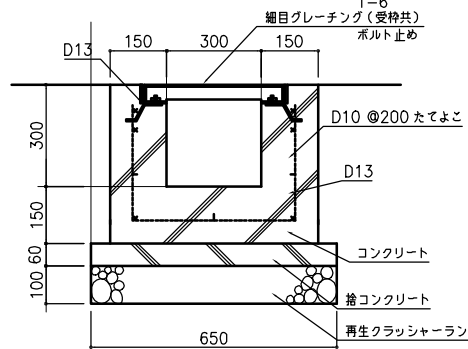
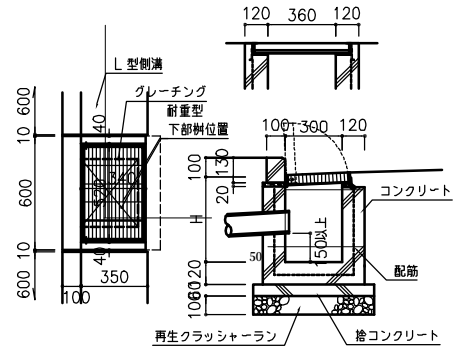
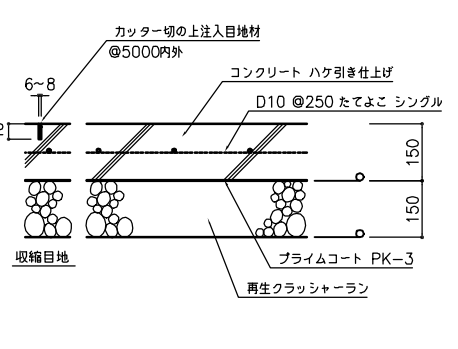
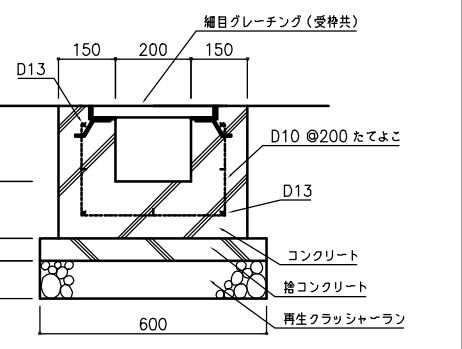
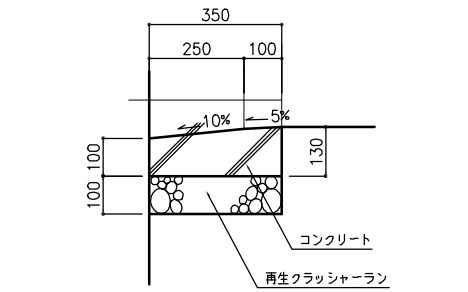
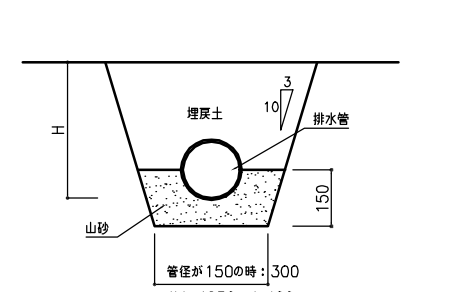
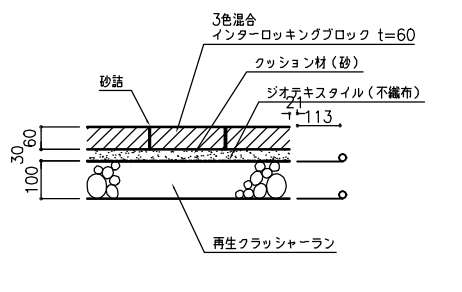
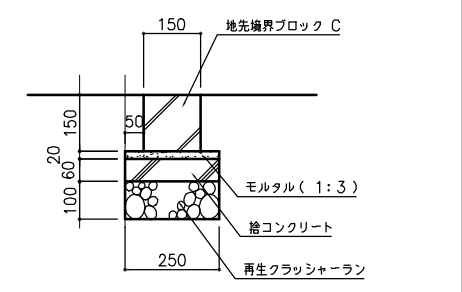
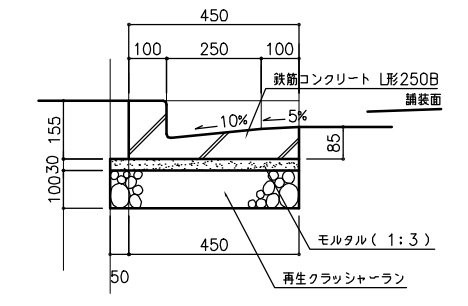
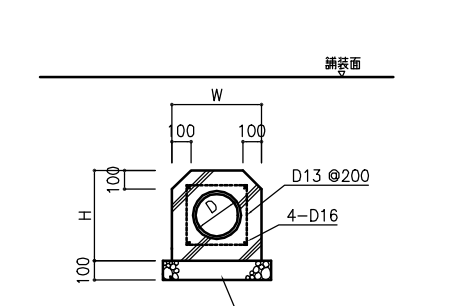
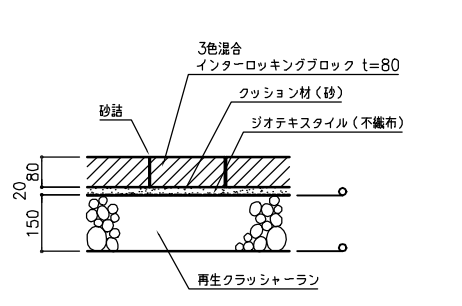
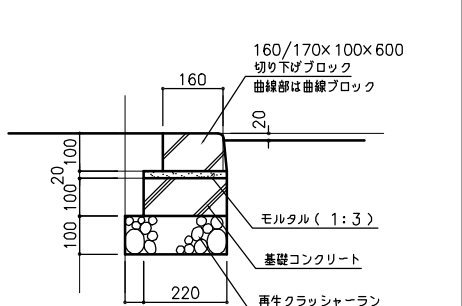
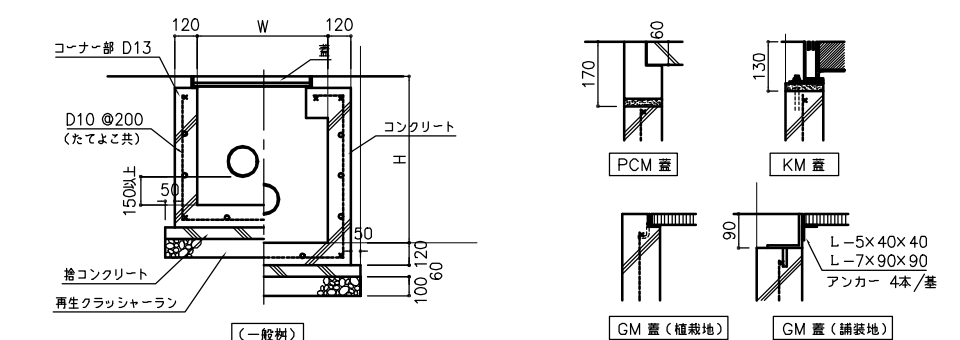
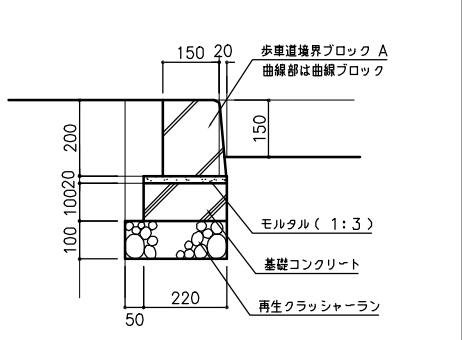


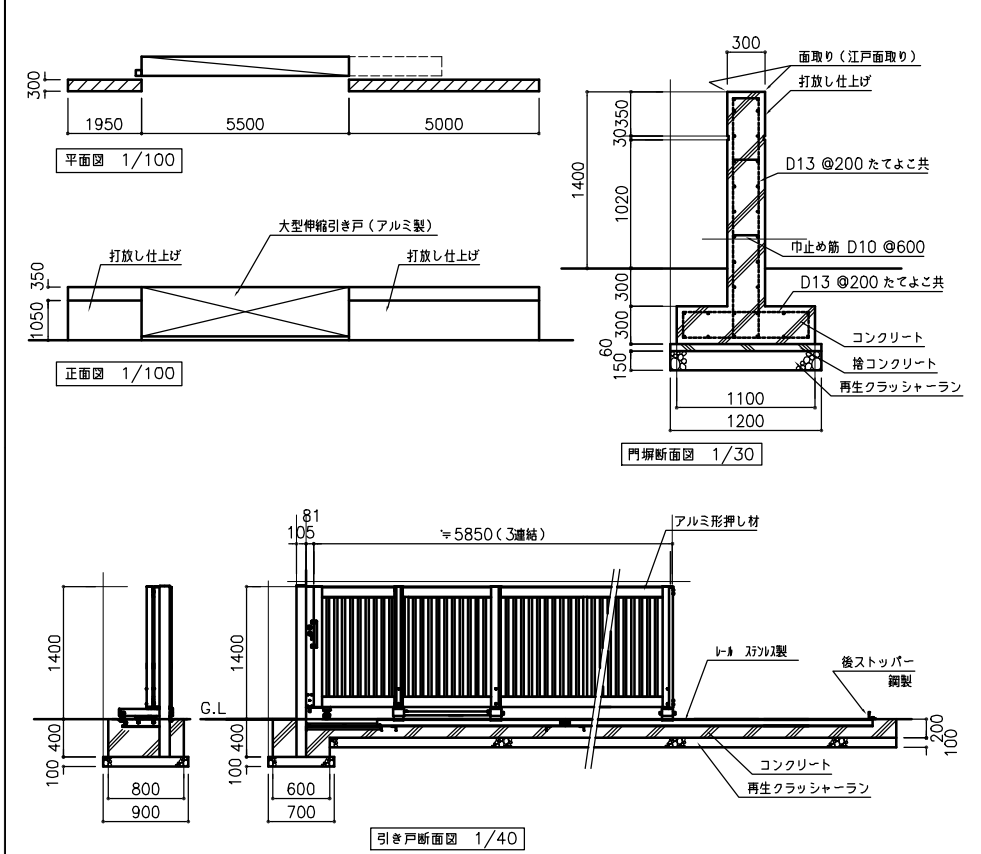
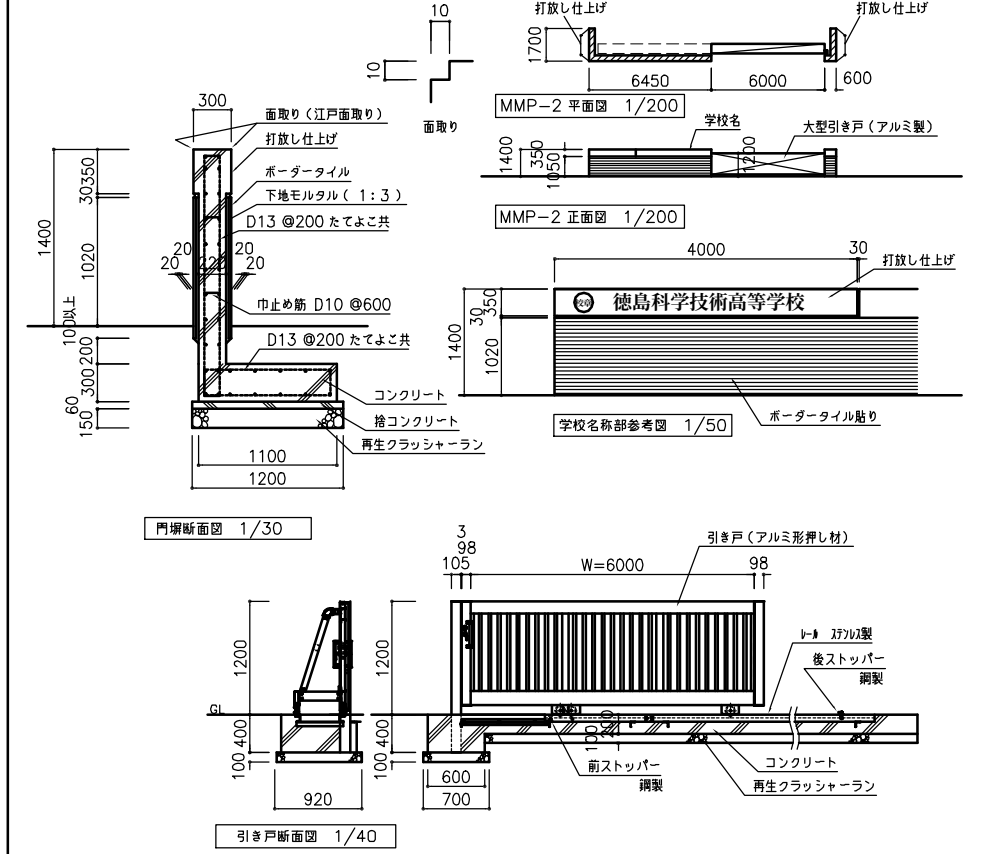
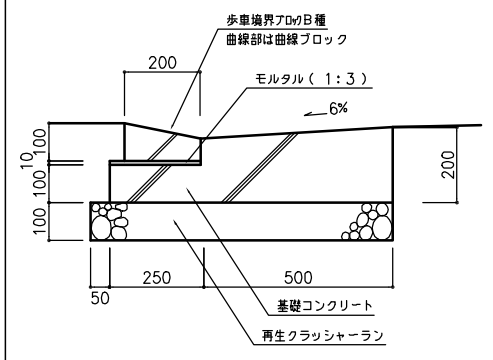
課長	主幹	課長補佐	技術補佐	主査兼係長	係員	担当	設計番号 2006181 2006.3.8.	工事名称 H21管轄 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 外構工事	図面番号 A014
							株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	一級建築士 ■ 149681 吉井 和男	図面名称 2期工事 外構施設平面図 その2 縮 尺 1/500

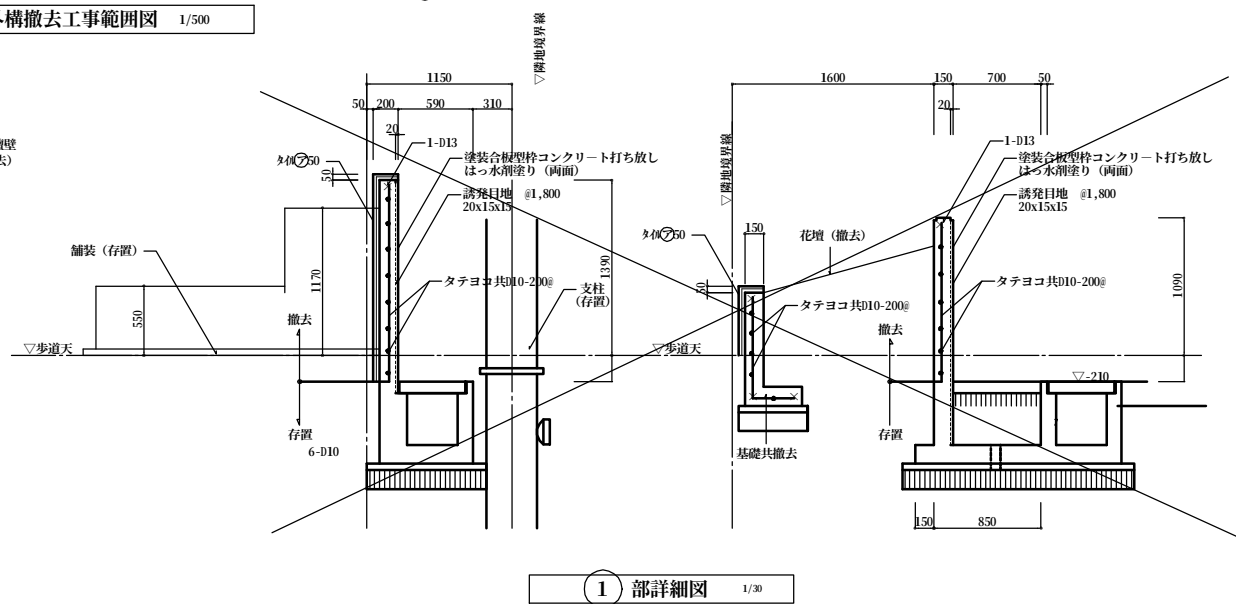
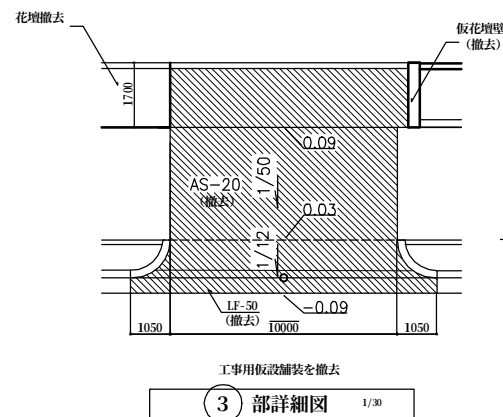
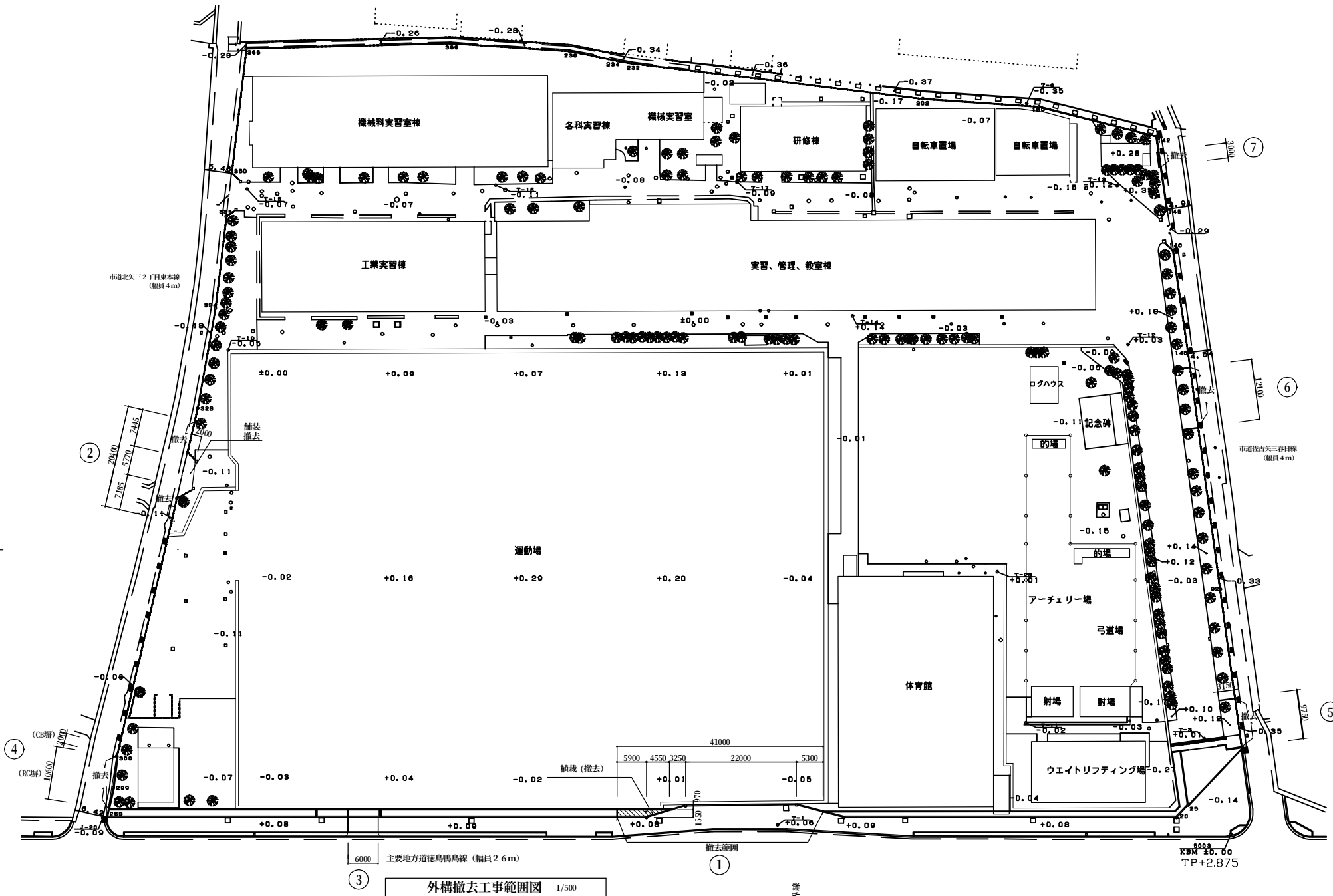
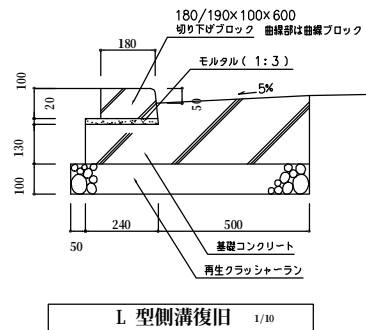
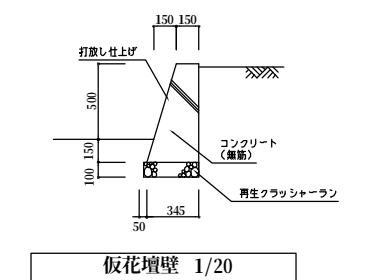
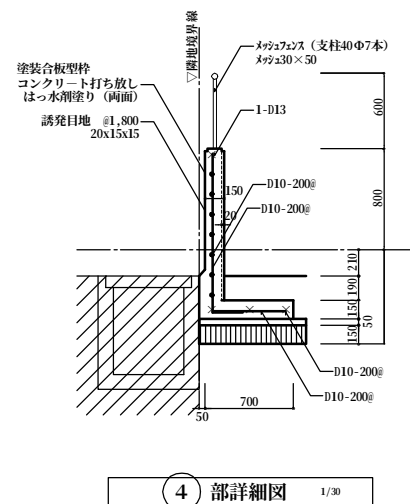
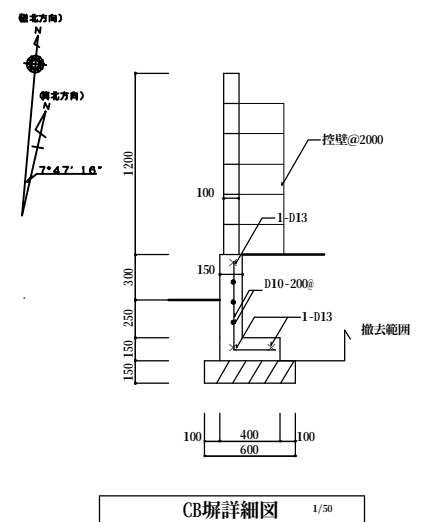


樹リスト						
樹No.	樹仕様	天端レベル	入管底レベル	出管底レベル	樹高 H	W
P-1e	KM-A6	-60	---	-510	600	400x400
P-1b	KM-A6	-60	---	-470	600	400x400
P-2	GM-A6	-98	-550	-550	680	400x400
P-3	GM-A6	-180	-580	-580	650	400x400
P-3a	KM-A2	-110	---	-510	600	480x480
P-3b	KM-A2	-108	-570	-570	708	400x400
P-4	GM-A6	-110	-670	-678	750	400x400
P-4a	KM-A6	-68	---	-450	680	400x400
P-4b	KM-A6	-20	-470	-470	600	400x400
P-5	GM-A6	-130	-690	-680	750	480x480
P-6	GM-A6	-148	-720	-720	750	400x400
P-7	GM-A6	-210	-770	-778	750	400x400
P-8	GM-A6	-290	-840	-840	780	400x400
P-8a	LM-A6	-280	---	-730	600	300x360
P-8b	GM-A6	-360	-1070	-1078	900	480x480
P-8c	GM-A2	-430	---	-880	600	400x400
P-9a	LM-A2	-400	-950	-950	600	400x400
P-10	GM-A6	-410	-1130	-1130	980	300x360
P-11	GM-A6	-560	-1180	-1180	800	400x400
P-12	GM-A6	-710	-1280	-1288	708	480x480
P-13	GM-A6	-718	-1290	-1298	758	400x400
Q-1	LM-A6	-870	---	-1020	600	300x360
R-1	LM-A6	-490	---	-940	680	300x360

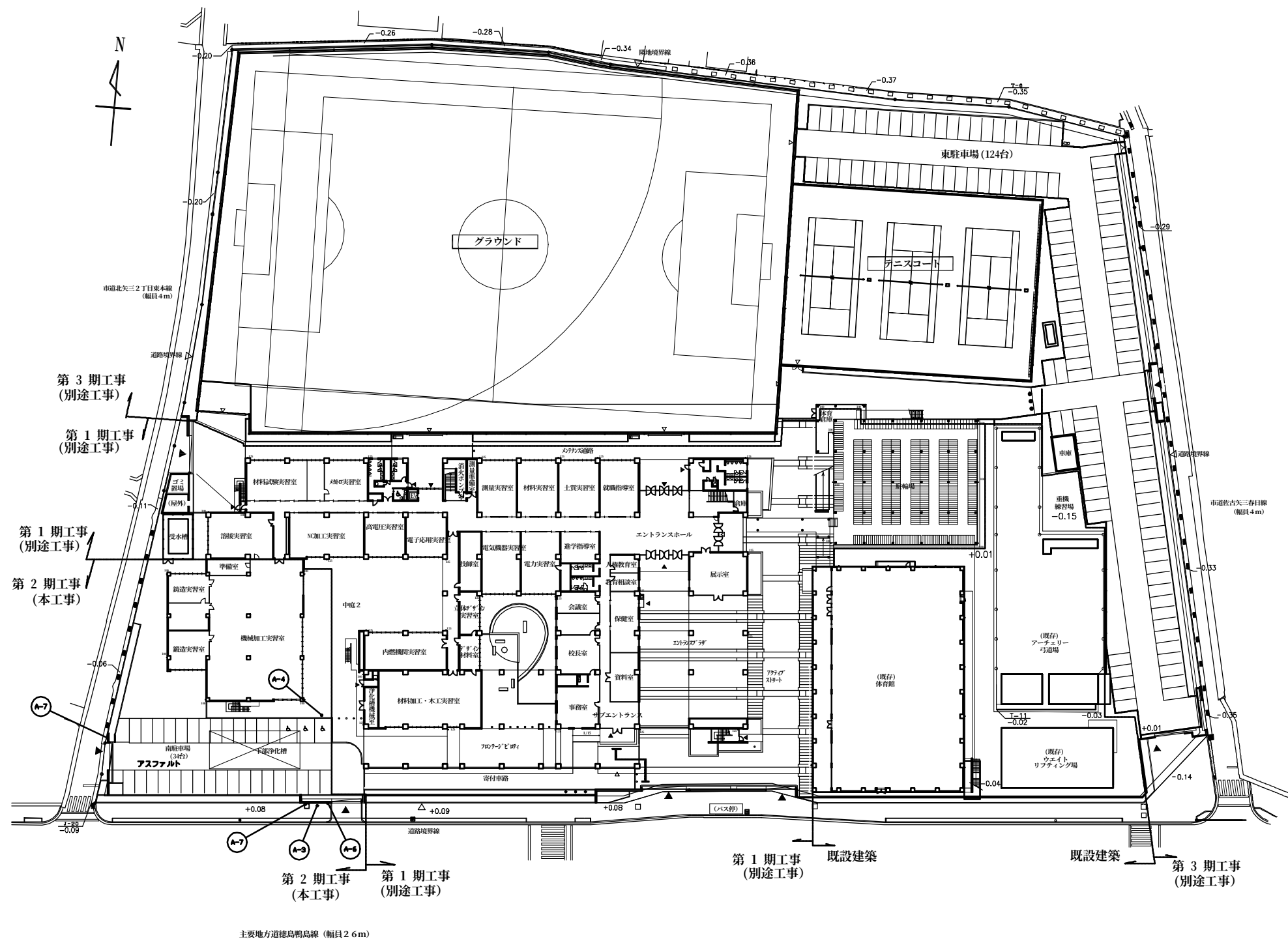
株式会社東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

OD-30A	横断溝-30A	1/10	LM-	L 型樹	1/20	AS-6	アスファルト舗装-6 (別途工事)	1/10	CH-15	コンクリート舗装-15	1/10	U-20B	U 型側溝20B	1/10					
																			
置 受枠共既製品とする			寸 法 W= 300 L= 360 H=									置 受枠共既製品とする							
			グレーチング重、枠既製品とする。									U-20B・・・T-6							
			配 筋 D10たてよこ @200																
LS-35	血溝	1/10	VP150~250	塩ビ管-150~-250	1/10	ILH-A	インターロッキング舗装-A	1/10				CE-1	コンクリート縁石-1	1/10					
																			
						歩道復旧 仕様については徳島県道路管理課と確認の事。													
L-35	L 型側溝	1/10		排水管全周保護工 (VP管)	1/20	ILH-B	インターロッキング舗装-B	1/10				CE-2	コンクリート縁石-2	1/10					
																			
			D	W	H														
			150	400	400														
			200	450	450														
			250	500	500														
GM-,KM-,PCM-	集水樹,化粧樹,コンクリート樹				1/10,1/20							CE-3	コンクリート縁石-3	1/10					
																			
W,H付法は雨水排水会所リストによる 100(W=300,450) 120(W=600)					PCM 置 コンクリート置(既製品 受枠共) KM 置 ステンレス製目地付インターロッキングブロック充填用化粧集水蓋 GM 置 鋼製グレーティング集水蓋(既製品 受枠共)														
					課長					主査兼係長					工事名称 H21宮崎 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 外構工事				
					主幹					係員					図面名称 2期工事 外構詳細図 その1 縮 尺 図 示				
					課長補佐					担当					A016				
										株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.									
										設計番号 2006181 2006.3.8. 一級建築士 担 当 149681 吉井和男									

NMP-2		西門-2		1/30,1/40,1/100		MMP-2		南門-2		1/30,1/40,1/50,1/200		LF-50		L型側溝復旧		1/10	
																	
門扉(伸縮引き戸)						7A製 電解着色											

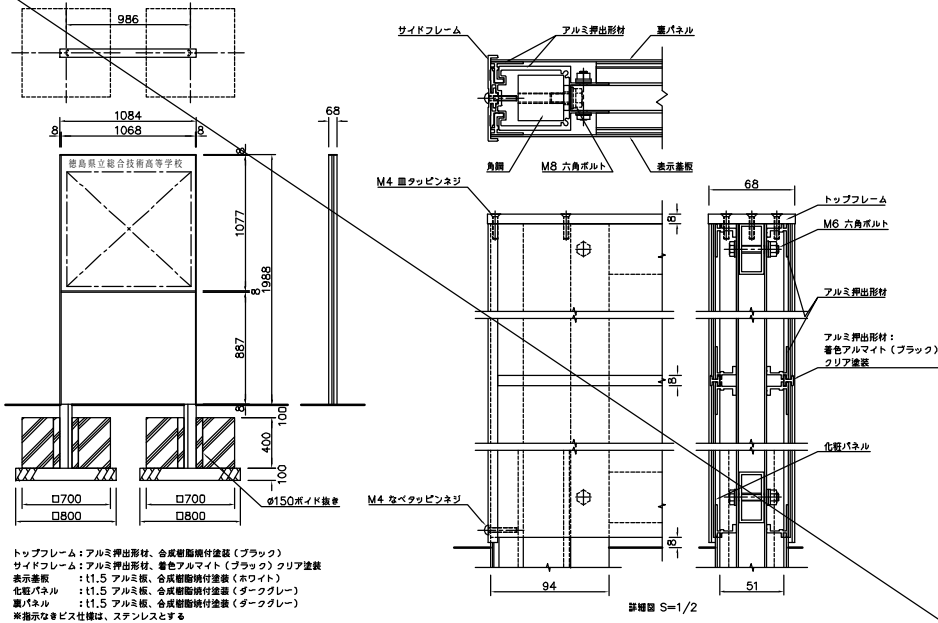
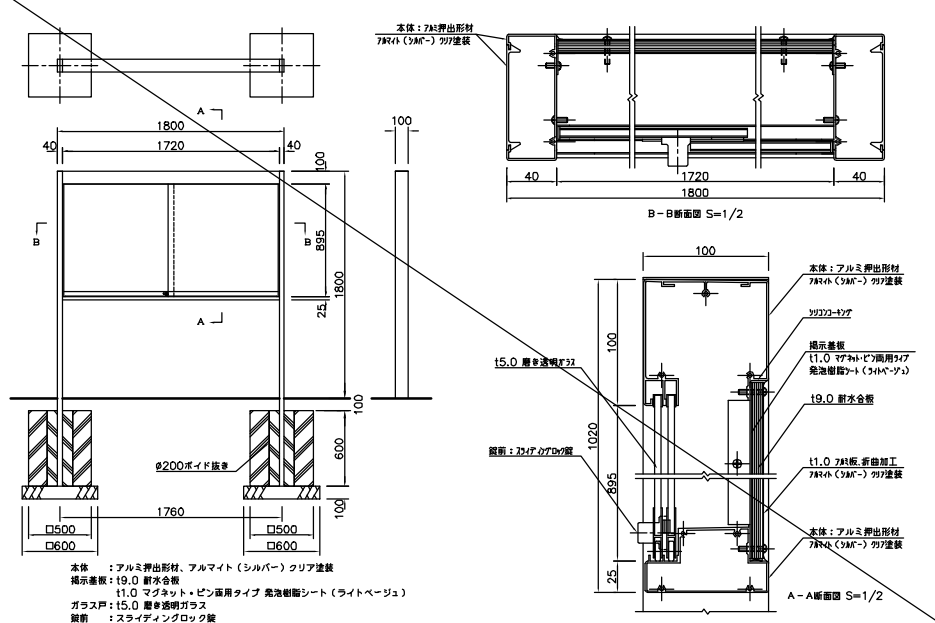
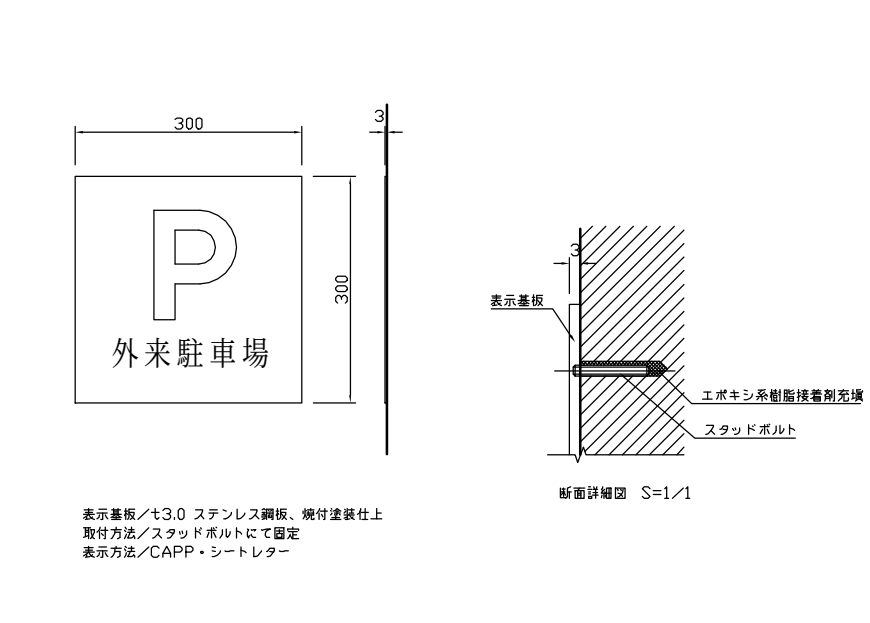
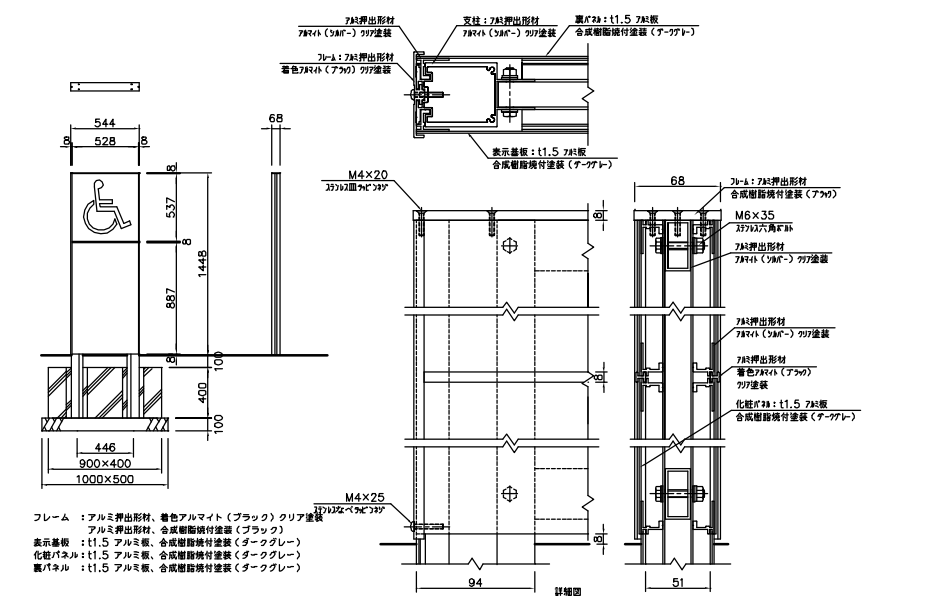
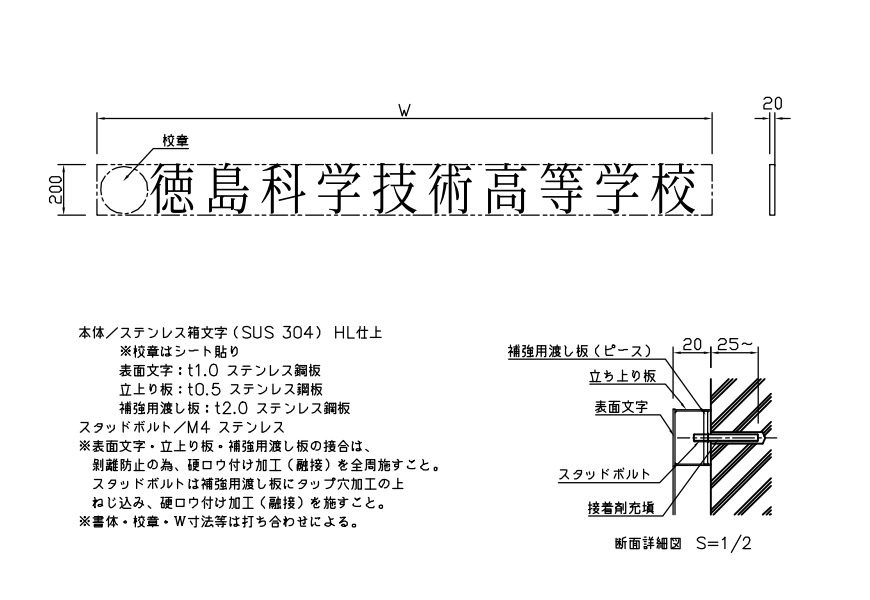
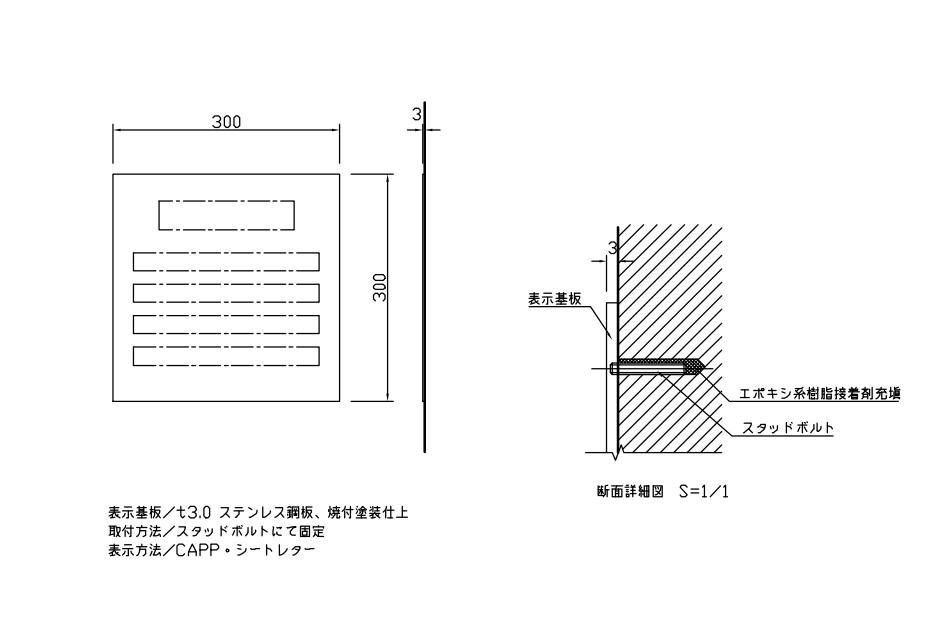
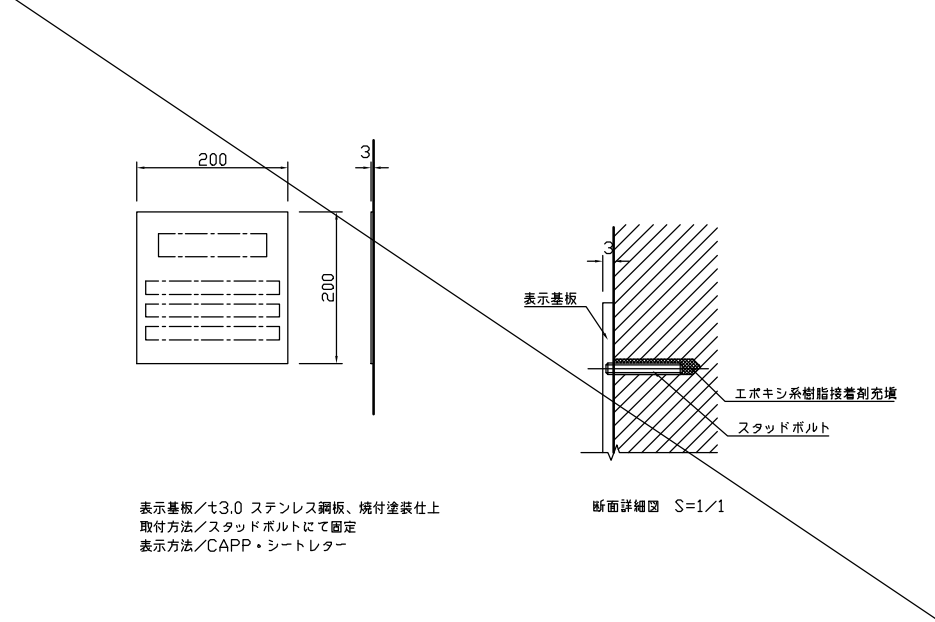


○ 外構工事に伴う撤去工事			
1 期工事（別途工事）			
①	花壇、コンクリート撤去	基礎共	詳細図による
	植栽撤去（ツツジ類）密植		範囲図詳細図による
	H=0.5 W=0.5 12本		
②	C B 塀 RC基礎 立上り	H=300	
	C B 積み	H=1200	
	鋼製スチロポリス	H=2400	
	（メッシュ部：H=1000より2400まで）		
	RC基礎	300×300×600 12ヶ所	
	各W=14630（見付幅）		
	鋼製門扉	H=1000 W=5770	
	レール基礎	L=50×50×6 2本	
	D200×W800×L6000 D10@200 シタ #縦横共		
	舗装	コンクリート舗装 ⑦ 100	
	D10 #200 シタ #縦横共 15㎡		
2 期工事（本工事）			
③	歩道舗装 撤去		詳細図による
	L型側溝 撤去		詳細図による
	仮花壇壁 撤去		詳細図による
④	C B 塀 RC基礎 立上り	H=300 W=2000	
	C B 積み	H=1200	
	鋼製スチロポリス	H=4000 W=2000	
	（メッシュ部：H=1000より4000まで）		
	RC基礎	300×300×600 2ヶ所	
	RC 塀	H=800 W=10600 ⑦L50	
	メッシュポリス	鋼製 H=650	他別図による
3 期工事（別途工事）			
⑤	C B 塀 RC基礎 立上り	H=300 W=9750	
	C B 積み	H=1000	
	鋼製スチロポリス	H=8000 W=10000	
	（メッシュ部：H=1000より8000まで）		
	RC基礎	400×1400×600 6ヶ所	
	L型側溝（既存駐車場）	W=9750	
⑥	C B 塀 RC基礎 立上り	H=300 W=12100	
	C B 積み	H=1000	
	鋼製スチロポリス	H=8000 W=12000	
	（メッシュ部：H=1000より8000まで）		
	RC基礎	400×1400×600 7ヶ所	
	L型側溝（既存駐車場）	W=12100	
⑦	C B 塀 RC基礎 立上り	H=300 W=3000	
	C B 積み	H=1000	
	各部について他工事（各解体工事、各工事の仮設工事）との		
	工事範囲及び適切な施工時期の調整を十分行なうこと。		
工事名称	H21管轄 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 外構工事	図面番号	
図面名称	外構撤去図 縮 尺 1/500	A018	



■サインリスト		
凡例	種類	
A-1	全体案内板	
A-2	屋外掲示板	
A-3	外来駐車場表示	1
A-4	車椅子専用駐車場	1
A-5	学校名称	
A-6	学校名称	1
A-7	注意書きプレートA	2
A-8	注意書きプレートB	

	課長	主幹	課長補佐	技術補佐	主査兼係長	係員	担当	株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 2006181	2006.3.8.	工事名称 H21 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 外構工事	図面番号
									一級建築士 ■ 149681 吉井 和男	担 当	図面名称 外構サイン配置図 縮 尺 1/500	A019

凡例	A-1	外構 全体案内板	1/30	数量	2	凡例	A-2	外構 屋外掲示板	1/30	数量	1	凡例	A-3	外構 外来駐車場表示	1/5	数量	1
 トッフレーム：アルミ押出型材、合成樹脂補付塗装（ブラック） サイドフレーム：アルミ押出型材、着色アルマイト（ブラック）クリア塗装 表示基板：t1.5 アルミ板、合成樹脂補付塗装（ホワイト） 化粧パネル：t1.5 アルミ板、合成樹脂補付塗装（ダークグレー） 裏パネル：t1.5 アルミ板、合成樹脂補付塗装（ダークグレー） ※指示なきビス仕様は、ステンレスとする 詳細図 S=1/2			 本体：アルミ押出型材、アルマイト（シルバー）クリア塗装 指示看板：t9.0 耐水合板 t1.0 マグネット・ピン両用タイプ 発泡樹脂シート（ライトベージュ） ガラス戸：t5.0 厚手透明ガラス 錠前：スライディングロック錠 A-A断面図 S=1/2			 表示基板／t3.0 ステンレス鋼板、焼付塗装仕上 取付方法／スタッドボルトにて固定 表示方法／CAPP・シートレーター 断面詳細図 S=1/1											
凡例	A-4	外構 車椅子専用駐車場	1/30	数量	1	凡例	A-5	外構 学校名称	1/20	数量	1	凡例	A-6	外構 学校名称	1/15	数量	1
 フレーム：アルミ押出型材、着色アルマイト（ブラック）クリア塗装 アルミ押出型材、合成樹脂補付塗装（ブラック） 表示基板：t1.5 アルミ板、合成樹脂補付塗装（ダークグレー） 化粧パネル：t1.5 アルミ板、合成樹脂補付塗装（ダークグレー） 裏パネル：t1.5 アルミ板、合成樹脂補付塗装（ダークグレー） 詳細図			 ＜ベース＞ 本体／t1.5 SUS鋼板折曲加工 合成樹脂焼付塗装仕上 フレーム／t50×t2.0 SUS角鋼管 ＜箱文字＞ 本体／ステンレス箱文字（SUS 304）HL仕上 ※校章はシート貼り 表面文字：t1.0 ステンレス鋼板 立上り板：t0.5 ステンレス鋼板 補強用渡し板：t2.0 ステンレス鋼板 スタッドボルト／M4 ステンレス ※表面文字・立上り板・補強用渡し板の接合は、 剝離防止の為、硬ロウ付け加工（融接）を全周施すこと。 スタッドボルトは補強用渡し板にタップ穴加工の上 ねじ込み、硬ロウ付け加工（融接）を施すこと。 ※書体・校章・W寸法等は打ち合わせによる。 コーキング処理 コンクリート躯体 （※建築工事）			 本体／ステンレス箱文字（SUS 304）HL仕上 ※校章はシート貼り 表面文字：t1.0 ステンレス鋼板 立上り板：t0.5 ステンレス鋼板 補強用渡し板：t2.0 ステンレス鋼板 スタッドボルト／M4 ステンレス ※表面文字・立上り板・補強用渡し板の接合は、 剝離防止の為、硬ロウ付け加工（融接）を全周施すこと。 スタッドボルトは補強用渡し板にタップ穴加工の上 ねじ込み、硬ロウ付け加工（融接）を施すこと。 ※書体・校章・W寸法等は打ち合わせによる。 断面詳細図 S=1/2											
凡例	A-7	外構 注意書きプレートA	1/5	数量	2	凡例	A-8	外構 注意書きプレートB	1/5	数量	1						
 表示基板／t3.0 ステンレス鋼板、焼付塗装仕上 取付方法／スタッドボルトにて固定 表示方法／CAPP・シートレーター 断面詳細図 S=1/1			 表示基板／t3.0 ステンレス鋼板、焼付塗装仕上 取付方法／スタッドボルトにて固定 表示方法／CAPP・シートレーター 断面詳細図 S=1/1														
			課長	主幹	課長補佐	技術補佐	主査兼係長	係員	担当	株式会社 東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.		設計番号 2006181 一級建築士 ■ 149681 吉井 和 男	2006.3.8.	工事名称 H21富橋 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 外構工事 図面名称 外構サイン詳細図 縮 尺	図面番号 A020		

平成19年度 電気工事仕様書

[illegible]

	課長	主幹	課長補佐	技術補佐	主査兼係長	係員	担当	株式会社 東畑 建築 事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 2006181		工事名称 H21 宮崎 徳島科学技術高等学校 徳・北矢三 外構工事	図面番号
									一級建築士 監 14981 吉井和男	担 当	図面名称 電気工事仕様書 縮 尺 -	E001

